京城日報　二十日夕刊

支那の形勢

▲獨立取消を命令せん

張勳氏は黎總統に對し各省の獨立取消を要求したるが總統は直に之を容れ近く右に關する命令を發すべしと（北京電報）

▲結局段祺瑞氏復職か

李經羲氏は各方面の反對多き爲め總理の任に就かざるの決心を爲し王士珍氏も十八日獨立各省に打電して總理たる事を辭退したれば結局段祺瑞氏の復職を見るに至るべき形勢となりたり（北京特電）

▲對支警告と米國の輿論

米公使不干涉態度宣明

米國政府は六日對支警告を發すると同時に聯合國諸政府に對して支那統一國内平和を第一とする點に於て賛成せん事を希望し來りたるが帝國政府は支那内政不干涉の主義を改廢するの意思なきのみならず、却つて米國の警告を以て其の結果に於て支那の内政に干涉するものとし此の點に就きて米國政府の注意を喚起する所あり同時に米國が日本を差措きて支那に警告したるは日本の東洋に於ける地位を無視するものなりとの議論民間に沸騰せし事は軈て米國の輿論に反響し同國の新聞にすら自國の對支警告を以て日米間の親善を害するものとして却て國務長官の不注意を攻擊するものありランシング氏が駐支公使ラインシュ氏をして支那國内の統一と平和とを維持せん事を慫慂せしめたる動機は衷心支那の利益を思ふ誠意に出でたるべけれど支那在留米人中には是に依りて支那の親米派を援けんとの劃策せし者あるやも知るべからず米國政府は初めより支那の内政に不干涉を主義とせるを以て在支米人活動は本國政府を誤るの觀なきにあらず此の爲めか駐支米國公使は既に避暑地北戴河に赴きて支那の内爭に關係せざる態度を明かにせり（北京特電）

○英國民獨都襲擊要求

英國民は一般に獨逸飛行機が屢々國内到る處を襲擊し非戰鬪員を殺戮するを憤慨し是れが復讐として英飛行機が大擧して獨逸大都市に襲擊を加へんことを政府に要求せり（倫敦來電）

○米の提議拋棄理由

日本の特殊地位を認めて

米國が聯合國に對す勸誘を拋棄したりとの報道は著しく内外の注意を喚起せるが思ふに米國政府も東洋政局の内情と日本の支那に於ける特殊の地位とを認めて支那内政不干涉主義を維持すると共に曩の勸誘を遂行せざるに決心せるもの丶如し（東京特電）

○米國對支將來憂慮

華盛頓政府は對支問題顛末を發表し米國の對支忠告は日本及び英國の拒絕する處となれるが右は將來米國の支那に對する盡力を妨ぐるものなりと憂慮せり（路透電報）

○米國軍事豫算内容

華盛頓發共筋著電に依れば六月十五日ウヰルソン大統領の署名したる米國戰費は左の如し（東京特電）

（戰費總豫算額）三十二億八千百萬弗

▲内譯　（海軍費）五億千九百萬弗（船舶局豫算）七億五千萬弗（商船建造の爲め）（陸軍費豫算）約二十億千二百萬弗

○飛行機二萬臺建造

米國政府の計畫

米國は參戰第一年間に於て二萬臺の飛行機を建造するの計畫ありと（桑港電報）

○獨逸國内に大暴動勃發

革命的色彩を帶ぶ

アムステルダム來電に依れば本月十七日獨逸國内數箇都市に革命的色彩を有する暴動起り事態重大なりと（路透電報）

○帝國外交成功

米國政府が支那内政干涉に關する提案を拋棄したるは全く日英兩國の反對抗議に基くものにして我が外交の成効なりとの評高し（東京電報）

○國民外交會組織

大竹貫一氏一派は十九日を以て國民外交會を組織し實行委員十名を擧げたり（東京電報）

○李王入洛打合

李王殿下は御歸鮮の途御入洛相成る可きに就き仙石宮内事務官二十日朝入洛京都府と種々打合せを爲す筈なり（京都特電）

○學習院長更迭か

大迫學習院長辭意あり後任者は蜂須賀侯なるべしとの說あり（東京電報）

○坂田公使來鮮

坂田新任西班牙公使は二十日朝新羅丸にて釜山に來著せるが有志の案内にて東萊溫泉に趣き同夜十時半鮮滿直通列車にて出發の豫定なり（釜山特電）

○鳥取視察團來鮮

鳥取縣理事官及縣參事會員等の有力者十名は朝鮮に於ける產業調査並に港灣改築の實況視察の爲め廿日夜釜山入港の關釜連絡船にて來鮮釜山、京城、仁川其他を視察する筈なり（釜山特電）

◉李王御退京

李王殿下には十九日午前十一時三十分御暇乞の爲め御參内、續きて御陪食を賜はせられ午後一時三十分御歸館あり、茲に目出度く御滯京の要務を了へ給へるより豫定の如く二十日御退京のことゝ相成りたる旨其の筋に電報ありたり

◉李王殿下御迎

李王殿下御歸還に就き山縣政務總監は遠藤秘書官、齋藤副官、宍戶屬等を隨へ二十三日夜南大門驛發列車にて南行下の關迄御出迎へのことに決せり、而して長谷川總督も東京より下關まで御送り申上ぐ可く、齋藤副官は同地に於て總督に隨行東上の筈

◉併鐵協商

鮮滿兩鐵道併合經理に關する準備の用向を帶び入京中の小日山長春驛長外滿鐵社員は二十日も前日に引續き午前十時卅分鐵道局に到り經理課長室に於て諸事務の打合を行ひたり

◉鮮鐵追加豫算

加藤經理課長談

第三十八議會解散の結果鐵道局より追加豫算として特別議會に提出したるものに關し加藤經理課長の說明を聞くに左の如し

▲建設改良費　鐵道建設及び改良事業は前年度末來の繼續事業にして六年度は既定年割額九百四十二萬圓を以て今年度の建設改良を施行する計畫にして其の内六百六十二萬圓は建設事業に二百八十萬圓は改良工事に充當すべし

▲鐵道作業費　鐵道作業費は豫算不成立の爲め前年度豫算を施行する事となれるの結果前年度に於て年度中途よりの施設事業に對する經費の著增咸鏡線北部建設工事の竣成に伴ひ運輸營業の開始に要する經費既定事業の發展に伴ひ要する經費物價騰貴に伴ふ經費等合計百二十六萬四千五百三十六圓は不足を告ぐる計算なり而して之れに對する鐵道收入は千百六十三萬四千九百九十圓にして收益二百六十七萬五千二百九十八圓を擧ぐる豫定なり

▲釜山棧橋　釜山第二棧橋陸上設備費二十萬圓は總費額三十四萬圓にして大正六七二箇年度の繼續事業にして土木局に於て施工する陸上設備の一部に屬するものなり

○李王殿下を東都に迎へて

宇佐美內務部長官談

御恙なく御歸還の程を祈る

予は六月三日穩々の公務を帶びて急遽東上の途に就き、同五日著京せることゝて李王殿下を東京停車場に御迎へ申し上ぐるの機會を得たり。此の日東都は密雲低く垂れて今にも雨を催さむ空相なりしも午後五時御著京の際には幸に雨なく、同驛より御旅館たる霞ヶ關離宮までの御途筋は近衞兵の諸列奉迎をはじめ官民の歡迎極めて盛なりき。李王殿下今回の御上京に就きては皇室より

▲特別の御優遇　を賜ひ、内地官民亦た誠意を盡して歡迎の情を表しつゝある狀況は一々新聞紙上に掲載餘すところなく今更之に加ふ可きものを知らず。就中御著京後十三日は陰鬱限りなく細雨霏々として眞に梅雨の空なりしが當日は恰も御休憩日とて御外出のこと無く十四日には御參內賢所御參拜の豫定なりしを以て痛く天候如何を氣遣ひしに當日は珍らしくも快晴となり蒼穹一碧萬里

▲極めて好都合　に執り行はせられ、翌十五日も又復た晴天當日は各宮殿下を御訪問の上午後五時より宮中に於て晩餐の御催あり予も亦た圖らず御召の光榮に浴するを得たり。此の御晩餐は鳳凰の間に於て開かせられ各宮並に妃殿下をはじめ元老大臣等九十餘名に對して御陪食を仰付けられ御宴與に盛大を盡せり。晩餐畢りて舞樂の御催に移り陛下入御、一同退出したるは午後九時の交なりき。予は十六日公務を了へて退京歸任の途に上れるが在京中李王殿下にも拜謁し

▲又た隨行諸官　よりも御樣子を承りたるに殿下には御出發以來始終御機嫌美はしきのみならず頗る御健勝にて更に平素の御起居と異なる處を見ず皇室の御優遇は申すに及ばず朝野擧りて至誠を盡せる歡迎に對しては殿下に於かせられても定めて御滿悅の御事なる可く殊に御健勝に亙らせらるゝ趣きは予等臣に取りては衷情欣喜に堪へざる處なり終に臨みて偏に殿下が御恙なく目出度く御歸還あらせられむことを祈る

◉學校會計會同（第三日）

官立學校會計主任會同第三日は前日に引き續き二十日午前九時より總督府第二會議室に開催午前は注意事項午後は荻田總務局長の訓示ありて二時散會之れにて本會同は無事終了せり

◉軍經理官會議

二十一日午前八時半より軍司令部會議室に於て左記日程により管內經理官會議を開會する由なるが參列者は步兵第四十旅團鎭海灣重砲兵大隊陸軍倉庫各地衞戍病院憲兵隊等の經理委員主查及び高級主計なり

第一日　午前秋山司令官臨席經理部長訓示、午後經理部よりの指示並に注意

第二日　各部隊提出事項及び各部隊の經理現況並に特種事項所上報告

第三日　午前第二日未了の事項、午後皮革會社の見學

第四日　事務打合及び經理研究會

尚右會議は廣瀨軍經理部長之れを整理すべしと

◉軍司令官張宴

駐劄軍司令官秋山大將は二十一日午後七時より目下入京中の滿鐵副總裁國澤新兵衞博士を主賓とし龍山官邸に晩餐會を催す由なるが山縣政務總監立花師團長大屋鐵道局長官橫井汽車三本營業兩課長廣瀨軍經理部長荻田總務局長久保滿鐵庶務課長岡本師團參謀長竹內軍司令部高級副官松井高級參謀小日山長春驛長等も亦列席すべし

◉白水參謀長出發

軍參謀長白水少將は二十日午前八時四十分龍山發列車にて小野大尉を隨へ南鮮部隊第二期檢閱のため鳥致院を經て忠州に向へり

◉國澤副總裁一行

入京中の國澤滿鐵副總裁久保庶務課長は二十日午前總督府を訪問大屋長官外關係當局と併鐵問題に關する協議を行ひたり

●服部臺灣鐵道部庶務課長服部仁藏氏は鮮鐵視察のため二十日安東より南浦に向ひ平壤を視察せし上二十一日午後七時五十分著列車にて入京すべし

◉海保北海道技師出發期　臨時土地調查局より北海道技師に轉じたる海保祐飛虎氏は廿一日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發する由

◉京畿面制打合會　京畿道にては二十日午前九時長官々室に各部長及び各係主任參集道回制定せられたる面制に就き種々打合を爲す所ありたり

◉旱魃と農民

京畿道管內に於ける農作は爾來旱天打續き偶々降雨を見るも僅かに一ミリ乃至三ミリの微雨にして極めて貧弱なる降水量を示し單に地表を潤ほすに過ぎずして一般農作物には差したる影響を與ふるに至らず依然旱魃狀態を持續せる有樣にして當局は管內金浦江華富川の各郡に對して乾播を施行せしめしが其他は概して降雨を待ち居るの狀態に在り幸ひ本月中に相當の降雨を見るに至らば二割乃至三割の減收を來すに止まるべきも飜つて地方農民を見るに一大恐慌を來しつゝあり即ち灌漑不足の爲め殆んど全部挿秧不可能たるのみならず苗代に對しても狹の貯水を以て灌漑し辛くも枯死を支へ甚敷に至りては井水を汲て之に注ぎつゝあるも井水亦涸渴し飲料にも缺乏を告げんとするの慘狀を演出して之を支持する能はず遂に苗代は龜裂を生じ苗の發育不良にして憂ふべき狀態に在り池沼の溜水を利用して一部植付を爲したるも水田は其後漸次水量の涸渴に伴ひ枯死に瀕し農民は各々爭ふて引水に努め徹宵水番人を附し居るの狀況なり斯くして水田の乾燥は全く極度に達し今後數週間降雨無きに於ては稻苗の挿秧は全然不可能となり凶年を見るに至るべく而して一部のものは旱魃を見越して水田に陸稻を植付けたるものあるも農民の多數は降雨を待居たる爲め既に植付季節を失し今更後悔し居る者多し加ふるに米穀の騰貴を見越して貯藏の米麥等を手放さゞる爲め市場に於ける取引僅少にして益々暴騰し停止する所を知らず細民は生計に一大困難を來し居れりと

◉鮮銀券發行高　六月十日より十六日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は三千九百十九萬一千零五十一圓なり

◉神戶夏期講演會　兵庫縣教育會、神戶市教育會、同史談會、同讀書會の聯合主催にて來る八月二日より八日迄七日間、市立神戶高等女學校に於て夏期講演會を開催する筈なるが講師は吉田東伍博士外十名何れも當代の名流碩學にして主として神戶兵庫及び瀨戶內海を中心とする歷史地理を講演すべしと

◉菊池幽芳氏歡迎會　大阪每日新聞社副主幹菊池幽芳氏の入京を機とし京城記者團にては二十日午後六時半朝鮮ホテルに於て同氏歡迎會を催せり

◉京城銀行催宴　京城銀行にては今回鯰尾晉三郞氏新に支配人として就任せるに付二十一日午後七時より京城記者團を花月に招待し右披露宴を催す由

◉金久保少將著發　大邱步兵旅團長金久保萬吉少將は二十日午後五時零五分著列車にて來田千歲旅館に一泊の上二十一日午前湖南線論山を經て公州へ向け出發同地守備隊の檢閱に臨場すべしと（大田）

◉復習將卒來る　大田步兵第七十九聯隊の各分屯隊內より昨年度に於て機關銃及び通信兵の教育を受けたる兵卒六十一名將校一名は十九日午後零時二十五分來田即日母隊へ入營二十日より四十日間の豫定を以て各其の技術の復習教練を受くる筈なりと（大田）

◉スタール博士通過　米國市俄古大學講師人類學博士スタール氏は十九日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出帆の關釜連絡船さくら丸にて通過東上せり（釜山）

【仁川】▲評議員選擧委員　二十五日執行仁川商業會議所評議員選擧委員としては委員長奧田貞次郞氏より高杉昇、吉金喜三郞、丁致國、孫星七の四氏を指名推擧したり▲中川警部赴任期　今回平昌警察署長に榮轉したる仁川警察署警部中川右衞門氏は二十五日午前七時發列車にて赴任の筈

【春川】▲在鄕軍人總會　在鄕軍人春川分會に於ては豫定の如く十七日午前十時陸軍射擊場に集合定例總會を開催したるが來賓は李道長官以下在春川重なる官民五十餘名にして役員改選後來賓及會員の順序を以て競點射擊を行ひ銃劍術の五格試合をなし終て中井手分會長より挨拶あり賞品を授與し午後二時より來賓を警察道場に招待し頗る盛會の裡に午後四時卅分無事解散したるが當日は春川守備隊より多大の後援ありたり▲局長榮轉　大正四年四月春川郵便局長として著任し氣受けよかりし市澤孝治氏は今回晉州郵便局長に榮轉する事となり後任晉州局長たりし島田氏著任の上事務を引繼ぎ出發の筈なるが官民有志より其れ〲記念品を贈呈する筈▲第一部長牛頭視察　江原道須藤第一部長は杉本事務官及び桂郡庶務主任を隨へ十五日午前十時より新北面牛頭里に出張灌漑事業福壽社の農事實況を視察し歸途朴贊嗣氏經營の私立牛頭農業傳習所の傳習狀態を視察せり

【光州】▲金融組合理事會議　道內金融組合理事會議は十八日より向ふ五日間開會出席理事廿四名にして吉村第二部長之を統裁し宮木道長官、國澤參與官、財務部長其他關係者臨席第一日第二日は諮問事項答申第三日は組合提出意見打合事項第四日は朝鮮語試驗第五日は訓示及び指示注意事項等ありて閉會の筈なり▲繭共同販賣　十八日光州に於て第一回春蠶共同販賣あり競爭入札に附したる結果特等一石七十圓の標準にて取引あり昨年の特等石五十五圓に比して十五圓の高値を唱へ居れる爲め生產者は何れも先高を見越して容易に手放さゞる模樣なり▲棉花發芽す　旱害の爲め一時悲觀されたる本道陸地棉は十三日の降雨にて稍勢を持直し更に十八日朝來の雨にて今迄發芽せざりしものは全部發芽しもの二三日中に發芽すべく例年に比し約二週間遲れ居るも今後の手入及び天候の如何に依りては充分恢復の望みありと▲秋山大將寄贈　十六日入光せし秋山軍司令官は光州小學校基金中へ金十五圓を寄贈したり▲綾田技師入京　各道米穀檢查主任會議臨席の爲め綾田道技師は藤本米檢主事を隨へ十九日入京す

【木浦】▲紡織設置請願　木浦紡織會社設置期成會にて發起以來調印中の請願書は此程內鮮人の分共に完了したれば去る十八日府廳經由總督府へ提出せり▲吉良技手　木浦模範場木浦支場より農商務省實業練習生として米國へ留學中なりし吉良氏は歸朝の上當支場技手に任命せられたりと▲戶口數　木浦先月末戶口數は內地人千三百八十五戶五千七百五十八人鮮人二千百七十戶九千〇九十九人外國人三十四戶百十七人なりと

人事消息

▲坂田西班牙公使　二十一日午前七時三十分南大門驛發列車にて通過の豫定

▲綾田要氏（全南道技師）▲指宿武吉氏（忠南道技師）　十九日夜入京巴城館へ

▲木下方三氏（慶南米穀檢査所主事）同上朝鮮館へ

▲跡見弘氏（橫濱貿易商）　同上

▲向坂銀三郞氏（水原模範場技師）　二十日夜入京

▲中選房則氏（三井物產社員）　二十日朝入京　內務部長官舍へ

▲鳥取縣視察團一行十二名　[illegible]氏▲理事官松井幹[illegible]氏▲縣會議長[illegible]氏外議員四名同參事會員五名二十日朝入京同上

◆雨意◆ 二十日往十里にて

観火會場へ 孰うお出でなさい

◇煙火は何處が一番見好いか◇

＝京城から電車で行くには練兵場で乘換へて舊龍山の電車終點まで行くか或は新龍山線の郵便局前で降りる方がよい＝

観火會の擧行される所は漢江の鐵道橋から西に向つた所になります、京城から行けば別掲の圖面にある通り練兵場で乘換へて舊龍山の電車終點まで行く道と新龍山線を郵便局前で降りて

◎龍山驛の右側の陸橋 を抜け旭橋を渡つて堤防の上に出る道とがあります、普通の觀覽者は此の二路を選ぶのが最も宜しいのでありますが、此の道は多數の人によつて雜沓すると思ふ方は新龍山の終點まで行つて鐵道官舍の中を拔けて川岸に出るか、それとも鐵橋附近まで行くもよく、更に

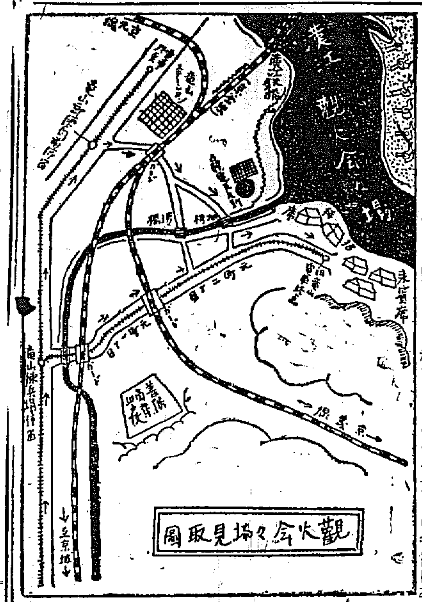
◎靜かな所で眺めやう とする方は午後七時十分南大門驛發の仁川行列車か、同七時五十分南大門驛發の急行に乘つて鷺梁津驛に降りて川岸に出るか小高い丘に上れば江上の壯觀は無論、對岸龍山の賑ひも手に取るやうに見れます、歸りは渡船で歸るもよく、十時四十七分鷺梁津發の汽車もあります、更に變つた道を取るならば

◎麻浦行電車に乘つて 麻浦まで行き稅關出張所附近の山から見れば是又滿天滿地唯彩火なる盛觀を一眸の裡に納むる事が出來ます、亦會場附近にあつては川に沿うた電車々庫の下一帶の地は素より旭川堤防先きの京城電氣の瓦斯タンク附近から新龍山方面に至る川岸も絕好の觀覽場でせうが

◎八景園上の山上など も恰好の場所たる事は言ふまでもありません、何しろ澤山の灯が江上を染めて輝き、絕ず打ち揚げられる煙火と共に二時間前後に渡つて不夜城を現出する事ですから些し高い所なら大抵の所ならば望み得られます、灯を流し始めるのは夕闇の色ますます濃かになつて來た八時過ぎからでありますが夕景から開會時刻の近づくにつれて

◎雜沓は雜沓を生んで くる事でせうから成るべく早く會場に行つて適當の場所を占めて置かれる方が得策だらうと思ふのです、會場は來賓席、招待席を除く外は何處で御覽になるのも隨意です、そして會場にはビール、サイダー、シトロン、菓子、果物等その他あらゆる賣店がありますから早くから行つて好い場所を得て、辨當でも開き、川千鳥啼き／＼飛び交ふ

◎水面に夜の幕靜かに 降りて行く美しい情景を眺めながら開會を待つのも面白いでせう、兎に角京城で始めての催しといつてよい觀火會、それがどんなに美しいものでせうか、詰らないものでせうか見ない事には人に話も出來ますまい、何しろ一度お出で下さい、そして本社が夏の行樂の魁として企てた此の壯擧に盛況を添へて下さい



石油爆發 四名の大火傷

黃海道沙里院居住石油行商の支那人劉龍昌が本月六日午前十時頃鳳山郡萬泉面彈井里崔學覧方にて同里崔國鉉(二七)に石油八合を賣りたるが國鉉は泥水油にはあらざるかと試驗の爲め燐寸にて點火したるに火は忽ち石油罐に引火して轟然爆發し居合せたる國鉉、朴𦬇友(二一)崔國榮(七)崔學搢(二〇)の四名は何れも大火傷を負ひ三名は遂に失明するに至り目下加療中なるも生命危篤なりと

未だ二三日雨は降るまい

十八日朝揚子江方面から南鮮を襲うて日本海に逃げた低氣壓は京城地方には蚊の涙にも足らぬ四ミリの雨をのこしつゝあとは未だ暑い日照りのカラ梅雨となつた十九日の午後は平…

近松管長代理の葬儀

故本派本願寺管長代理近松尊定師の本山葬は二十日執行せられたり午前六時遺骨を鴻の間に移し假式あり同八時出棺葬列は十數町に亙り見物人堵を爲す十時より大谷本廟式場にて莊嚴なる葬儀あり正午式を終れり會葬者約二千人近來稀有の葬儀なり(大阪特電)

長崎の同盟罷工

三菱長崎造船所飽浦仕上工場職工二百四十名は賃金三割方値上を要求せるも之を拒絕されたる爲め同盟罷工を起せり(長崎特電)

井上氏放免さる

過般拘引を報ぜられし代議士井上角五郎氏は取調の上放免せられ東上せり(大阪特電)

唐山丸溺死者

沈沒を報ぜられたる唐山丸乘組員日本人二十二人支那人八人の内高級船員八人は全部溺死せるものと信ぜらるとの內報桑港より來れり(大阪特電)

芳川鎌子 天理教に歸依す

芳川鎌子は父老伯と共に心中を圖りし疑に自動車の運轉手と天理教に歸依し鎌子は殘る半生をこれに送る由

呪はれたる 女の運命(六) 意外の出來事

有松が來てから鑛山屋に對するお梅の態度は一變した。

『御親切は有難いですが私はこんな泥の中でなければ生きられて居られない運根みたいな躰なんですから打捨つて置いて下さい。』斯んな事を云つてお梅は鑛山屋から持出した落籍の相談をも跳ね付けて終つた。

××××が斷念して來た事を買ふために置いて行く金は時も有松の着物や袴になるか二人の遊興費に消ゑて終つたお梅と有松との間の腐爛した淫蕩な歡樂の日はそれから幾何も續かなかつた、深く打込んで居た鑛山屋もさきりに、お梅の佃艷な仕向けを憤ほつて手を引いた二人はすぐに金に窮して來た、梅が一枚看板の座敷著までも質屋に抱へ込むやうに成つたのはそれから間もなくの事であつた。

同じ江の水が流して來た。朝と夕との冷氣は急に秋の深くなつた事を告げてすゞろに人懷かしい夕方であつた何時も有松の使ひに來る太郎と名付いた朝鮮人がお梅の部屋へ飛込んで來て

『姐さん困る事が出來ました。有松さん監獄に行きました』斯う云つて太郎は大切に筒袖の懐中へ手を入れて握つて居た有松の手紙を出して渡した。

『どうして?』お梅はこれまで幾度も大事件に遭つた時に何時もするやうに大きな瞳を瞬りながら幾度も幾度も徐かに肯首て見せた

『マアどうしたといふのだろう』

『今ですよ二時間ばかり前の。中村といふ刑事が連れて行きました。それからこの手紙を書いて姐さんにやつてこい云ひました、外の事は知りません』太郎は斯う云つて每のやうに後しざりにグズ／＼と出て行つて終つた。××有松の拘引は斯うであつた。××鑛山屋が經營して居る△△鑛山は此の頃鑛脈が斷ねて終つた其の上に係の使ひ込みから鑛夫は勞銀の支拂をも受けず困つて居ると平賤日々の新聞に掲載された記事が×××の業務を妨害するものとして告訴され有松は其の編輯の責任者として拘引されたのである

拘引、監獄斯んな言葉はお梅の胸には死の宣告のやうに恐しく響いた此の二三日有松の來なかつた事や惡い夢や胸騷ぎやと彼が幾度も此んな事件で經驗したと云ふ事『コレは又大變な事になるだろう』やうな直覺の幻影が目に見れて來る

が問題だから心配する程の事はない二三日の內には逢へるだらうと書き添へてあつた

愛讀者優待

本券御持參の方に對し一名限廾錢の木戸を廾錢に割引致候

東京相撲 木戸割引券

京城日報社

大邱興行中

大邱の大相撲 本社支局お好み

…外お好みとして出すべく…島、鵬島の取組を…(大邱特電)

…て群山地方に…し事なく土俵の上に彼の勇姿を見るは…く今回が最初…にして又終りとなれば各地方…

連絡船上陸客

十九日午前八時釜山入港さくら丸一二等客 一等四名 宇佐美勝夫、鎌田昌直、富田勝三…

一、中原きく、大垣み、共阿彌純平、…太郎、闘谷人、ボブラ…ン、同…

同いね、同…、松田定二郎、有村芳…、同夫人、同小兒、同たルウチチツチ、同ザヨツセ…ベル、ヘ…サイツフ…

一、同夫人 三等(百二十八名)

六月十九日午後九時五十五分釜山入港高麗丸二三等客

佐一、川島吉八郎、山崎新、武田市造 三等(百〇五名)

珍らしい朝鮮の鳥

＝京城高等普通學校教諭 森爲三氏談＝

內地に發見せられぬ珍らしい鳥

◆ヒメイソヒヨドリ(新稱) 動物分類學上鳴禽類中の鵯科に屬する小鳥である、此の鳥は從來露西亞人が滿洲で採集して滿洲に居ることは知られて居つたが朝鮮では未だ採集せられた事がなかつた、從つて和名もなかつたのであるが大正五年九月本校の高橋氏が平安北道で採集し初めて朝鮮にも棲むことがわかり黑田長禮氏と相談してヒメイソヒヨドリと命名したのである、其れであるから勿論內地ではまだ發見せられた事はない

◆珍しい鳥で ある、雄は普通のヒヨドリに似て居るが新稱を與へた樣に大體に於て各部共小さい、體色は雌雄によつて違つて居つて雄は頭部及び小雨覆は空青色、背は主に黑褐色翼及び尾は褐色であつて腹面は主に褐栗色である、雌は雄の樣な空青色の部分無く背面は主に淡褐色で腹面は主に灰白色である、夫れで雌雄共に喉の所が白い之が此の鳥の特徴である夫れであるから英名でホワイト、スロウテツド、ロツクス、ラツシユと云ふ、ロツク、スラツシユの稱あれども普通のイソヒヨドリの樣に岩上又は海濱に居らずして老樹鬱々として茂れる密林中に棲んで居る 其の

◆鳴聲は淸滑 其の上大變麗はしいので籠鳥となす價値が充分ある、昆蟲類を盛んに食するから益鳥である滿洲支那北部南西西比利亞等に棲んで繁殖し冬になると南方に飛びカムボヂアあたりで發見せらるゝさうである、其の渡りの時季になると多數群をなし非常の速力で飛翔する樣は見る者の心に一種の崇美の感を抱かしめるさうである、世界にイソヒヨドリ屬の鳥が約十種あるが朝鮮には此のヒメイソヒヨドリとイソヒヨドリの二種を產する

◆キウシウサンクワウテウ 鳴禽類中の鶲科に屬する小鳥である、翌厭にて見らるゝ通り雄は尾は大變長くて體長は四寸足らずであるのに尾の長さは二倍半あまりの一尺餘である之に反して雌の尾は大變短い、體色も雄は紫黑色であるのに雌は赭色である、共に頭上の羽毛は冠狀を呈して居る夫れで和漢三才圖繪にも『按鳥鳳近年有之稍 碧色觜赤腹白羽黑面微赤項毛鳳起項上有冠 眼大而瞼青尾長者一尺許』と記してあるがよく形態を記して居る。朝鮮のサンクワウテウは本州のと比べて見ると羽毛の色濃く且つ尾羽長短の差が著しく違つて居つて九州のと同樣である、夫れで本名があるのである。初夏の候に來遊し初夏の候に樹枝上に盃狀の巢に枝葉蘚苔等を用ひて精巧なる巢を作り其の中に卵四五個を產む秋になると支那から馬來半島の方に飛んで行く、其の鳴聲月星日と聞ゆる所から三光鳥の名を得たのである、蟲類を捕食するから保護鳥の部類に這入る、京畿道抱川郡光陵の森林に赴くと長い尾を振りながら樹から樹へ輕々し變化に富んだ美しい聲でよく啼いて居るのを聞く、和漢三才圖繪にも『吾曜淸越如笙簧度小商會宮商 又能效百鳥之音』とある、英名をザアパンニース、パラダイス、フライキヤツチヤーと云ふ

綿糸布更に昂騰

瓦斯路綾急反撥さなりし綿糸布は昨午後に至り更に綿布現物二十錢高三銘先物十四十五錢迄取引行はれし旨入電ありたるが今朝は三品別の如く綿糸現物角セ十六手二百七十圓綿布現物龍シー九圓八十五錢九龍九圓九十錢鶯九圓八十五錢を報じ綿布は之に

殆ど前高値迄引返

したる譯にて當市中も大阪相場の騰いて引返へしを報ずるに逆れ人氣再び硬化し拔物は全く影を潛め相なし

綿布三 一二

二百四十六、七圓より二百五十圓唱へ

なれり

綿ネル大買占

大阪大物 業有力筋にては最近綿ネル七八九物全部 約

一萬梱の大買占を

なせるより織物界に一大動搖を生じ無地物二百番二十六錢さ稀有の高値を告げ東京筋にても大阪ノ面の買に占料較せられて盛んに買占を行ひつゝある模樣なれば綿絲高につれて

綿布は益々躍進

すべく底意强硬の成行なり

鹽化加里暴騰

鹽化加里の原料たる鹽化加里は產地たる北海道における海草の不作なるを採收人員の減少せる爲收穫高非常に減じ之が爲鹽化加里は噸三百圓より四

百圓方暴騰

せるが梅雨期の鹽酸加里需要の本季節にあれば更に暴騰するの見込みにて八月以後の商談は皆無の姿なり隨つて鹽酸加里も勝り界の不振なるに拘らず原料鹽化加里の騰暴と且海外商談の弗々成立する等にて一樽四十五六圓と一週間前に比し

五六圓方引返

し底意强硬の成行を示せり

商況

東京公債直取引(特電) 二十日出來値 五分利特別 九五、一〇 五分甲號 一回 四分 ニ回四分 五分 九五、二〇

深川在米特電 二十日現在高 朝鮮米 內地米 …米 九四、五八六 四〇、七七五 一、七六四、〇四〇

東京期米特電 二十日前場 八月限 寄付 高値 安値 止め 二三、一一五 二三、二三 二三、一一 二三、三五

大阪株式 十九日後場

種類	前場	後場
宇治川水	五〇〇	三三〇四
京阪電鐵	五〇〇	三三〇〇
東洋紡績	五〇〇	八八〇〇
合同紡績	五〇〇	三九〇〇
鐘淵紡績	五〇〇	二〇二〇
同上新株	五〇〇	一〇二〇〇
東京精糖	五〇〇	一二六〇〇
大阪商船	五〇〇	一三三〇〇
日本郵船	五〇〇	一七三〇〇
同上新株	五〇〇	一七五〇〇
堂島米穀	五〇〇	一二九〇〇
東京新株	五〇〇	一二七〇〇
大阪株式	五〇〇	一二五〇〇

大阪三品特電 二十日前場 六月限 二七、四五 七月限 二七、八一 八月限 二七、九〇 九月限 二六、九五 十月限 二七、一〇 十一月限 二七、五〇

大阪期米特電 二十日前場 寄付 中限 二三、二〇 先限 二三、二四 當限 二二、一四 止め

下關期米特電 二十日前場 寄付 當限 一九、八〇 中限 二三、四〇 先限 二三、七〇

雜報

滿洲粟暫落

米價の暴騰に伴ひ一時非常の勢ひを以つて需要を促進せし滿洲粟も麥の收穫期に近づきたると正米市況の不昧なると供給の增加せる爲め反落の傾きさへなり市場引續き荷圍へ模樣を呈し居れり早魃の甚しかりし滿洲地方に漸く雨ありて次來產地相場も安模樣なる爲め市中ザリ／＼安く目下十三圓七八十錢を唱へるに至れり

板硝子の近況

戰前外國品の本邦製品は僅かに內地に於ける消費の補給の程度にありて其の產額多からざりしに歐洲動亂と同時に輸入杜絕となり當時斯界に白耳義產の輸入途絕へ内地品の將來大いに慌を來して戰時影響より蒙むる物價暴騰の率先となりしが其の後米國品の輸入の途拓けて時々同國より輸入を見つゝありしも日を經るに從ひ運賃の暴騰船腹不足等次第に輸入困難となり延いて本邦製造業の大發展を促がせしが今や板硝子に於ては年產額約百萬箱にも達し國內の供給は勿論其餘力を以つて輸出の途を開拓しつゝあるが我朝鮮にあつても京城釜山仁川に各特約店を設けて販路の開拓に努め結果近來外品の輸入殆ど其跡を斷つに至れり鮮內の昨今は時期柄建築材料として需要多く且つ官衙の大工事等も少なからざるも既往料高に一時見合せとなりしが建築工事も急に物價下落の望みなきに至れるより次第に新築增設の工事多く且つ官衙の大工事等もありて前途の望みあるもの〻如し而して昨年暮會社の値下に連れて釜山仁川の特約店間に激烈なる販賣競爭行はれたるも最低の暴騰原料高等より三月に入り會社値段一割上の發表を爲したる以來左方次第に無謀の競爭を避け今日に至つて漸く平調に復し來れり相場は一時十四圓九十錢迄追込みしもの昨今にては當地の十六圓以上を唱ふに至れり

鮮共同販賣狀況

◎(慶北)安東 △十九日(生繭十四日)

最高	八四、四三六
最低	五三、三六
平均	六八、二六
數量	四百八十三貫

◎榮州

最高	七七、四一〇
最低	五八、〇〇
平均	七二、六〇
數量	二百二十一貫

下關相場

▲朝鮮白米は保合 其後百五十叺の廻着に過ぎざるのみならず產地も割りに安からずして各米主の賣り急がざるに依り荷動き鈍惰なるにも拘はらず格別人氣變らず

▲大豆は弛ます 其後新義州產六百十八叺平壤產三百九叺雄基產六百五十叺砂里院產三百九叺等の輸入ありしが中には先約定物の加はり居り賣り物としての輸入左程多からぬのみならず產地も兎角安からぬに連れ各手持筋の賣り急がざるに依り昨今賣れ行き捗々しからぬにも拘はらず格別市況弛まず

▲小豆は先づ保合 本品は近來出廻り全く途切れたるのみならず產地も別に安からずして名手持筋の賣り急がざるに依り氣方弱からず然れども何分小口の賣れ行きに過ぎずして市況引立たず

△朝鮮一等白米 廿一圓五六十錢
△同(常用)廿一圓八十錢
△同(當用)廿一圓九十錢
△朝鮮牛小豆 十三圓六十錢
△フツボ大豆 十三圓六十錢
△元山大豆軸上 十三圓九十錢

京城正米

前月來の米價暴騰は一は時勢と在米薄に基因せるものなりと雖も永らく晴天打續きて水量不足を告げ延いて麥作の悲觀植附懸念等の强材料を湧起せしめし天候によりて之が暴騰の時期を促進し且つ實勢以上に相場を煽りし事いふを俟たず左れば此際一般に雨降れば必ず米價は下落するものとの待せられ又然かあるべきが當然の筋なるが事實は豫期の如くならず最近雨後の降雨も雨量案外少なくして一般人氣の上に反應なく持米主も未だ持米を安心手放すに至らざれば各地共に相變らず賣物薄なるに至つて買人の態度依然頑强を革めず此處に賣人側の安唱へも一甑利かず市況は白米の賣行き不振による綿米筋の買控へに多少軟味を帶べるさい

釜山穀物(十九日)

▲正米(頑合み保合) 本邦大阪定期前寄入電は先廾二圓七十六錢との報あり今前場寄り物として潤澤ならず當市場肝腎賣人の精米口も白米の買注文捗々敷く促し來らざる事とて一向買進まず只本朝は或二三の精米口より補充買ありたれ共米主の餘りの强硬態度なれば飛付き買も出來難きにありて目立ちたる商內現はれず然して相場は變らず保合にあり

▲大豆 賣り物としては餘り潤澤ならず本朝は地場商用口よりの買望人ありしも相場は變らず保合なり

綿出來高一三五四▲安一二四四▲まさつ六〇▲大豆五〇

釜山水產市場(十九日)

前夜の時化に因り入魚少なく市場淋しかりしも相場前日に異ならず

入船數五十三隻 十貫目建

△タイ九圓△大フカ四圓五十錢△ハアツビ十六圓△ヒラメ七圓△エビ二十圓△メバル二圓△ハモ七圓△アツユ圓△サバ二圓雜魚六圓

水揚高八百十七圓九十九錢

京城雜穀

各品へ荷は明々あるも正米氣配の不昧に總て小甘く商內又捗々しからず

▲大豆は品薄の爲め强硬にて一時割安なりし仁川は此四五日來に約三十錢方の引締めを傳へられ茲許十圓六七十錢處を手堅く持合ひ居れり

▲小豆は正米の不昧に行圍へ模樣なるも矢張赤大玉の十四圓五十錢小五十一圓八十錢花小豆十二圓見當を維持しつゝあり

▲其他麥は過般八圓二十錢迄取引行はれしもの今日にては八圓內外に下り大麥又目下五圓七十錢前後にて高値より約七十錢方下落す

南大門の廻穀

平澤白米	二六叺	安州裸麥	五〇叺
黃州粟	一三六叺	新義州大豆	五一叺
水原白米	二六叺	新義州粟	四七叺
水原小豆	一四叺	平康大豆	四一叺
水原白米	三一叺	南浦大麥	三〇〇叺
平康大麥	六六叺	砂里院粟	一五六叺
新義白米	七八叺		

仁川期米

▲二十日前場(結局保合)

△兵庫大阪前寄米著にて當地寄中出來不申先十八錢六十七錢と同事に寄付たる折柄兵庫前寄二十二圓五十錢と下値も賣物多くザリ／＼五十八錢と下値ひたる所

大阪大候晴天

前寄二十二圓三十四錢と昨より

三十五錢大上

放れ入電に接し

たるより買物綱はれ忽ち八十一錢と沸騰したるが戻りは依然く賣物多く折柄

大阪四節九錢〇五節〇

一錢と安移り

に七十錢と押したる賣買勝にて六十九錢と斯りて

保合の裡に頭重く

伸び惱みの成行を示して散會

京城雜穀

米價の大勢

▲現下に於ける米價の大勢は一に天候の如何に依りて左右せらるゝは今更論ずる必要なきも米價相場は多く一時的に止まり能く大勢を左右する能はず近時米價の昂騰に連れて既に高さに失する者あるも諸物價

尙割安

なるは一般の歐洲戰亂の餘波を受けて內地より各島嶼へ輸出したる數甚決して尠少ならず鮮地より米は今や

世界的食料品

なると共に今年の供給不足は豫想せらるゝも殆んど消費し盡したるより早くも新米の出廻り左れば此際一時內地各市場に於ける古米迄古米の堆積しありたる者も其に於ても同一事情の許に在る鮮地に於ても同一事情の許に在るも直りの競爭の前途の如き事情に根本的に然る我

仁川には尙十七、八

萬叺の大堆積を擁し

時變質期に際し居るより必需精米筋は偶精米の注文ある自己の持米を以つて之に充當し前途を觀望し居るの又復雜なる成立せる物合にて

振はず正米界は一向

上の雨期の輸出の買入れを聞かず最近傍斯る事情の許に大保合の繰り返しを居るも本年に於ける早魃は近年になき甚だ甚なる者あり尤も南鮮地方は時々降雨を報じ居るも忠淸道京畿道は雨量少なく西鮮に至つて尤も早勢の大なる者あり今後の天候を慮ふべき者あり途大に憂ふべきあり拘らず人氣は雨見越しに存外落付き居るか米價の大勢已に前述の如くなるに換て加へ

稀有の旱魃は前途

如何なる影響を及ぼすなるや

米價の上に及ぼす所の影響が甚大なるや是れ則ち現下の大問題である尤も旱魃問題は此の一週間乃至二週間の內に降雨の有無に決する大勢は恐らく降雨あつて左したる影響なくして更に甚大なる影響を蒙るや必然であるに想到せば米價の前途を略察し得らるゝ者あらん

▲① 同店の賣三千餘石買八千餘石
▲② 同店の賣三千餘石買二千餘石
▲③ 同店の賣六千餘石買三千餘石
▲④ 同店の賣四千餘石買二千餘石
▲⑤ 同店の賣三千餘石買五千餘石
▲⑥ 同店の賣三千餘石買四千餘石
▲⑦ 同店の賣三千餘石買四千餘石
▲⑧ 同店の賣三千餘石買三千餘石
▲⑨ 同店の賣三千餘石買一千餘石
▲⑩ 同店の賣三千餘石買二千餘石
▲⑪ 同店の賣二千餘石買五六百石

仁川米豆取引所

二十日の八月限

前場	
寄付	十八圓六十七錢
止め	十八圓六十九錢
高値	十八圓八十一錢
安値	十八圓五十八錢
出來高	五萬八千四百石

平均値段	
一節	十八圓六十四錢
二節	十八圓六十九錢
三節	十八圓七十六錢
四節	十八圓七十錢
五節	十八圓七十一錢

賣買取組高

六月限	五百十石	
七月限	四萬三千二百五十石	
八月限		

十九日後場

一八、七六	前日と比較	九安
一八、六七		二高
一八、五六		五高
一八、五八		

小賣白米

現金賣 一等白米 二十三錢 次白 二十二錢五厘

白米標準値

二十二圓六十錢

◎◎ 仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 電話長三五七 三六八番

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 大五仲買店 電話三〇九 四九二三

定期賣買の栞、電信略號御一報次第御送附可申候 田中金吾商店 電話長一六二八 五二二番

(利) 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 森仲買店 電話店用長九〇五番 六二五番 本宅電話八三二番

市場零聞

依然大保合

天候照り兵庫阪の電報未著にて十八圓六十七錢寄付たるが今節の賣物にザリ／＼五十八錢と押したる折柄大阪大上放れの入電に買物輻輳し忽ち八十一錢さ上伸せしが⊖全令の保合⊜余其他より賣物多く伸び惱みたるが大阪跡安を受けて◎今⊕其他より賣物多く伸び惱みたる為鞘寄せ六十九錢と押して散會を告ぐ

▲二十日前場 先限⓪十八圓六十七錢六錢九錢六錢五錢四錢三錢二錢一錢⊖六十錢五十八錢九錢八錢七錢六錢五錢四錢⊜七十錢一錢二錢三錢四錢五錢六錢七錢八錢九錢⊝七十錢六十九錢⊕七十錢一錢

天氣

くもり

曇り時々晴れ

(二十日午後六時發 廿一日午後六時迄)

六月廿一日 日出 五時十一分 日沒 七時五十八分 滿潮 …

大郎に於ける東京大相撲は二十日より開場したるが初日には本社支局のお好みとして銀盃を懸賞に附し決勝五人抜きを爲し二十一日は同じく番[illegible]日間にて一行は二十四日夜乘込み來る豫定なるが何分太刀山の一行は[illegible]

[illegible]の團體見物も[illegible]るべしと因に本社群山支局は江景人士の爲めに團體見物の組織準備中にて既に加入申込者多數に上りたり（群山）

一等（七十三名）木村もと、藤井秋子、末永こま、藤村潤介、永富たみ、柿本信次郎、吉田はつ、齊藤榮、中原寬治、太田兵太郎、邱敏之、馮晋三、伊東正、同るい子、同信之、庄野さゐ、有馬市助、立石琢八、立原今朝子、江村はや、菅元生、山中直藏、有村濟太郎、川口菊夫、麻生次郎、井上喜[illegible]

◎變つた施療院

△大阪玉造に出來た佛教主義の慈善病院

其昔聖德太子は四天王寺境外に今日の云ふ慈善病院とも云ふべき施藥院を設けられて遍く衆生を救ひ給ふたとあるが其四天王寺に程遠からぬ大阪は玉造小橋寺町興德寺境內に今度信貴山成福院積德會附屬施療院なる一風變つた佛教主義の慈善病院が出來た而かも夫れが佛教中でも

▼最も古風な　眞言宗の僧侶の手に依り創設されたのであるから一入興味が有る、院主は鈴木惠照師と云つて阿波の藥王寺の住職から叩き上げて難行苦行の果明治三十年彼の楠公に因みある毘沙門天王で有名な信貴山に登り成福院の住職となつた人今でこそ信貴山と云へば大阪を中心に各階級に亘つて中々歸依者多く四六時中參詣者の絶ゑない平たく云ふと人氣のある御寺であるが同師が初めて入山した時はさしも靈驗顯著な同山も世間の擯斥に依り荒廢目も當てられぬ實に慘憺たるものであつたさうな夫が現今多數の信徒[illegible]たにみても世間並の坊サンでない事が解る此人が其三十年來の宿願を實現すべく有志の賛同を得理想の病院を建立したのが此信貴山成福院積德會附屬施療院であるだから其組織も一寸世間に類がない、即ち院長とも云ふべき平田眞照君は實に徒弟の一人であつて曩に師の命に依り醫學修德に志し東京醫學校を卒業大正元年に開業醫免狀を得てから尚東京の傳染病研究所や三井慈善病院で

▼實地研究　し一人前の醫者となつて師の同寺に歸つた坊サンの御醫者であつて師の理想を理想とし師の主義を實行するに申分ない人と言はねばならぬ、尚師の徒弟中目下大阪醫科大學に在學せる者二名齒科醫學校に一名藥學校に一名德島中學に三名（醫師志望）は何れも師の意志を繼承し師と運命を共にして他日當病院の柱石となるべき人々であるのみならず徒弟中赤尾照道藤野了道二君は東寺大學を卒業して目下布教方面に活動し尚眞言宗大學に一名同中學に二名小學に二名在學せる等十五名の徒弟何れも僧俗二途に分れて精進努力し生きた宗教家として使命を自覺して他日恩師の理想實現を心掛けてゐる人々である、之に就き惠照師は當病院設立の動機並に

▼將來の抱負　を語りて曰く自分は豫て信貴山中興の高僧恐性菩薩が或年惡疫流行の際『療病悲田院』を設け毘沙門天王の加護を得て多くの人を救濟したと云ふ傳記を讀で感奮し何でも此由緒深い信貴山末世の後董として說教施療二方法に依り先德の遺芳を傳へんものと身體の病氣に苦しむ人々には醫師をして藥師如來の妙藥を投せしめ心の病に惱む人々には如來所說の教藥に親しましめ

▼貧苦に惱む　人々には毘沙門天に祈願して福利を成就せしめ所謂佛院の施病興樂臨機の法を現世に行ひ度く年來徒弟養成に努めて之を世間部、宗教部と二方面に分つた次第で既に第一部の者が成業したので漸く興德寺燒跡千二百坪を敷地に小規模ながら開院した尤も當分は內科眼科のみ每日二百名限り無料施療する事にしたが將來各徒弟の成業するにつれ逐次各科を設けて完全な宗教的醫院たらしめる理想である云々中々熱心である、因に眞言宗本山京都泉涌寺長泉智等師は此擧を賛同され進んで總裁となり去十六日の開院式の際にも[illegible]來されたのは[illegible]ぬ救濟事業には[illegible]と惠照師を激勵されたが數ある慈善病院の內でも尤も宗教的色彩濃厚な殊も毛色の異つたものとして記者は同病院の發展を祈る者である（大阪支局）

◎リトマス液新發見

石川縣江沼郡動橋村今川北出岩吉氏は漸く本年適齡に達せる青年なるが各種機械發明に對して深き趣味と明晰なる頭腦を有し立命館中學京都高等工藝學校に入り精巧なる電燈變色器を新案し又自轉車用幌並に自轉車雨中自在傘器を案出し目下孰れも特許出願中なり近く和草ヤツデについて研究の結果從來の輸入品に比し遜色なき完全なるリトマス液を發明せり同氏の發明によれば之と同一の製品は僅に數十分の一に相當する價格例へば假りに一オンス一圓のものとすれば僅に三四錢乃至五錢迄にて製出するを得べく之が效果にして顯著なるものあれば我國學界に貢獻すること大なるべし氏は之を京都理科大學特別化學研究所に提出し確固理學士の實驗を乞ふといふ（大阪支局）

◎衣類は何して保存するか

梅雨時の心得

じめ〳〵した梅雨が來ます黴は時を得顔に發生します、例年に替はらぬことであるが衣類の手當を左に述べませう

◇冬から春に　かけての肌著衣類等の汚れたのは出來るだけ此際に解きほどして洗ひ張りを濟ませまた一二度著たもので汚れ目の立たぬものには襟に清らかな紙を當て、少しでも

◇垢の附いて　居るものはベンジン或は揮發油で拭き、袖口や裾、膝前なども注意して汚れは、綺麗に拭き去らねばなりません、吾妻コート、インバネスの如きものは塵埃や汚物なども附き易く、從つてどんな黴菌が附著して居ないとも限りませぬから

◇毛の長い軟　かで而かも彈力のあるブラッシで、肩から下へ〳〵と丁寧に拂ひ、袖疊にして上から棒のやうなもので敲き襟や袖口は揮發油で拭き一日風通し好き所に晒した上、ナフタリン或は樟腦を紙に包んで入れ、悉皆別々に紙で掩うて仕舞ひます、其分量は香が鼻に附く程にしなければなりませぬ

◇長襦袢の襟　などの汚れの甚だしいものは、白粉は椿の油を塗つて取り、他の垢はマルセール石鹸を溶かした微温湯を西洋楊子に含ませて靜かにこすり、日蔭に乾かし尚水の附た部分に大きな輪廓を爲して汚斑が出來ましたら、雨掌で徐に揉んで御覽なさいそして湯伸をすれば結構です

◇毛皮襟卷杯　は矢張りベンジンを刷毛に含ませて毛並通りにこすり、塵埃を綺麗に拂つてから乾かした箱の中にナフタリンを底と上部、中部に入れて密閉して藏ひます虎の革ラッコの革等の貴重なものは特に注意してナフタリンを入れる許りでなくナフタリン（一〇グラム）フエニック酸（一〇グラム）龍腦（五グラム）枸櫞酸（五グラム）チモール（二グラム）ラフエンデル油（二グラム）杜松子油（二グラム）アルコール（五グラム）の割合で調合した藥液を時々箱や簞笥の中に撒布して高い香の絶れぬ樣になさいそして

◇梅雨が開け　た時に一度日光に晒し、秋風の立つた時にモウ一度土用干をします

街の砂

▲大賊の化身　德島縣名西郡鬼籠村生れ前科八犯高野庫次郎（三七）は東京市內外の名士邸宅から一萬二千圓許りの大泥棒を働き巢鴨に大家を借受け妾や鯛夫を置いて銀行の重役に化たりして居た

▲強い遞送夫　愛媛縣[illegible]郡內子局の遞送人堀內久吉（三五）が十六日夜大洲街道で短刀二本を持つた賊に斬りつけられたが大格鬪して辛くも行囊の被掠を免れたが頗る重傷だといふ

▲お相撲藝妓　兵庫縣武庫郡[illegible]の公會堂新築落成式を十一日執行し餘興に力士姿の一藝妓が現はれたこれは一時大阪相撲の玉錦であつた大木戸森右衛門の娘照田てい（一八）と言つて父の病と貧とを見兼ねて身を沈め其の金で父を保養して居ることが分り居並ぶ名士から澤山な纏頭が惠まれ之れを父に渡した

▲猫の殺人　島根縣邇摩郡大內村小松原百太郎方では農繁の爲め此頃本年四月生の女兒を一人寢かせて置いて仕事中二匹の大猫が來て件の女兒を噛殺して終つた

▲蕗茸に祟る　石川縣羽咋郡[illegible]村玉田安太郎妻つた（四〇）が此程山から蕗を探つて歸り隣家にも分けて食つた所一家族共中毒して發狂した

▲短氣な女　鹿兒島市新町島名松之助（五三）は妻すま（四九）との間に二十歳以上の子供もあるに山下町の竹內たか子（二〇）に逆上せたものですまは嫉妬の餘り十四日夜松之助に斬りつけて重傷を負はせ自分はナイフを仰いで自殺を企てた

▲荒い葬儀屋　大分市生れの坂本猪之助（三八）は十七日朝同居主なる筑前八幡市中本町三丁目葬儀屋國定大五郎（六一）から小言を言はれたとて同人を半殺しにして引裂き以前妻であつた坂本ふみ（三八）が同市[illegible]町二丁目賣藥商門司春樹（三八）と同棲し居るを怨み此の兩人にも重輕傷を負はせた

▲寺娘の墮落　大分縣佐賀關町地藏寺僧眞田完定の娘ひさ（一九）は近所の大工兒島照市（二四）と深い仲になり十四日夜斷落して大分に行つた所を押へられた

◎盜んだ指輪で遊興　平北

宣川生れの金娥秀（一八）は六月二十日夜京城樂園洞[illegible]方居住[illegible]宮崎きん（三五）と同衾しきんの指輪一個を騙取し之れを九圓に質入し得たる金にて[illegible]娼妓の許に遊興し同樣手段にて其の娼妓の指輪を騙取し十三圓に入質して又同樣遊興中を本町警察署に捕はる

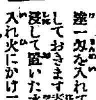
◎バウザー孃來鮮

ミス、ヒルダ、シー、バウザーは昨年金剛山探勝を試み上海に於ける諸新聞に其紀行を寄せ、或は各地に講演をなし外人間に金剛山紹介を以て有名の婦人なるが今夏又復び來鮮金剛山に向ふべしと

◎早咲の朝顔　遠藤扶治吉氏栽培

◎山口呉服店の景品附賣出し

京城本町山口呉服店に於ては二十日より三十日迄景品附浴衣地大賣出しを決行し其方法としては買上金一圓毎に景品券一枚其景品種目は丸帶、御召、名仙、上布、絽羽織地等にして其他一本の浴衣地なきも由なるが同店に於ける浴衣地は最新流行品澤山著荷し居れりと



◎うぐひす豆の煮方

青豌豆五合に對し重炭酸曹達一匁を入れて一夜水に浸しておきます翌朝煮ます時に洗ひ浸して置いた水と共に鍋に入れ火にかけ二三十分間煮て柔かに煮ますからして茹でますと青い美しい色となります柔かくなりましたら笊にあげ上から水をかけ冷しますこの冷す事は此豆を煮ますのには大切な點です必ず忘れない樣に冷まさなければなりません別に鍋に砂糖百四十匁を入れ水七勺程にて溶かし鹽三匁を入れて煮立て浮き上る灰汁を除り茹でた豌豆を入れて文火で煮ます時々鍋を動かして焦げつかぬ樣に注意いたします煮汁がほとんど無くなる位になりましたなら鍋を下ろし木鉢にあけて冷まします

月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
月經の滯を通じ、月經不順に伴ふ子宮血の道、便秘、頭痛、氣鬱、逆上等を良治す。又持藥とせば惡血を下し、月經異動、子宮病を治す。
藥價　十五日分一週五拾五錢　二週壹圓　三週壹圓四拾錢
本舖　丹平商會藥房

鑛山
分析鑑定　測量設計　鑛床地質調査　鑛區選定
（外鑛務に關する事業は迅速に應す）
熊本　福岡　學士俱樂部
釜山鑛業所
釜山幸町二（電話二五七番）

致富之栞!! 進呈
營業所（堂島濱壹丁目）
大阪堂島米穀取引所仲買人
今延商店
電話　北四六八番　北四六九番　北四七〇番　浪五六番
電信略號（イ、マ）

急告
大阪每日新聞十六日の紙上に福岡市に在る朝鮮勸業株式會社の社長楠田及重役二名詐欺の新事實發見拘引せられたりと有り右は似名の會社にて本社に無之候に關係加入者一般に爲念廣告仕候也
本社　神戸市相生町四丁目一二五
支部　朝鮮京城若草町百六番地
電話三千十一番　振替京城六五九番
日本勸業銀行勸業債券月賦賣渡
報國公債株式會社朝鮮支部
本社長　勳六等　西村[illegible]
朝鮮支部長　日山彦十郎

品位
九重香油
貴物到兎油店化粧品店雜貨店ニアリ
本　大阪　東京　川崎製

模範的懷中藥
守田寶丹

危險な梅雨期
けふ此頃も
惡疫諸病流行の
一番よくきく
旅行に家庭に執務に外出に必ず携帶し朝夕缺さず服用せば惡疫諸病を未發に防ぎ
梅雨も土用も無事強健
主効　▲頭痛眩暈▲船車酒の醉▲食傷水傷▲寢冷吐瀉▲氣附毒消▲過飲過食▲中暑▲疲勞倦怠▲惡疫諸病

定價　金五錢、金十錢、金廿錢、金卅錢、金五十錢、金一圓、三十錢以上は寶獎なる寶丹匙を添ふ
寶丹本舖　十二世守田治兵衛
東京下谷池之端仲町　振替東京二九八五
各藥店にあり

左官材料値上廣告

昨年以來原料騰貴運賃高率の爲め當組合に於て左記の通値上致候に付此段廣告仕候

大正六年六月十八日

京龍仁左官材料販賣同業組合

改正定價表

沸化石灰（百斤入）	八十錢
生石灰（百斤入）	七十錢
俵灰	八十五錢
淺黄土	一俵一圓卅五錢
黄土	二圓五十錢
吟南草上	一貫匁八十錢
同並	六十錢
苧莇上	一貫匁七十錢
同中	六十三錢
同並	五十五錢
色砂其他	三割値上

▼朝鮮ノ行政區劃一覽出ヅ▲

司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士　加古貞太郎先生序文
朝鮮總督府財務局財務官　小笠原寬先生序文
法政大學校友　關西大學校友　越智唯七編纂

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

大正六年四月十日現在總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金參圓

舊韓國政府時代ニハ府郡數三百三十、面（內地ノ町村ニ該當ス）數四千三百餘、里洞（大字ニ該當ス）數六萬二千五百餘ナリシヲ、總督府及各道廳ハ一大廢合整理ヲ行ヒ府郡數二百三十、面數二千五百餘、里洞數二萬八千餘トナレリ此ノ廢合整理ト舊臘決了シタル土地調查ト相俟テ朝鮮全道ノ行政區劃ハ確定セリ然レトモ未タ一目瞭然タルノ書籍ナク執務上參考上不便此上ナキ折柄著者ハ聊カ社會公衆ニ便センコトノ微意ヲ以テ本書ヲ編纂セリ本書ニハ道、府、郡、島廳及面事務所ノ所在地ヲ示シ末尾ニ朝鮮ノ沿革日、鮮、清、西曆トノ詳細ナル對照年號ヲ示シ管區數、人口、戶數、道路里數、各道ノ廣袤、交通、產物、名所舊跡、溫泉其他ノ概況ヲ揭ケリ、各官廳ヲ初メ政治家、實業家、學者、交通、產業其他苟モ朝鮮ニ關係ヲ有スル士ノ須臾モ缺クヘカラサルノ必携書ナルコト敢テ多言ヲ要セサルヘシ此際實價ニ等シキ價格ヲ以テ發行セリ部數ニ限リアリ諸賢速ニ購求セラレンコトヲ請フ

發行所　京城府公平洞五番地　電話一四五〇番　中央市場

一等賞（御禮）特別賞

大正六年度上半期間에 弊店의 賣買出來高는 [illegible]

▲一等賞 [illegible]

▲特別賞 [illegible]

大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我一郎商店

山下紅療法

今般本療法にて奇効を得られたる古城菅堂氏等の勸誘により左記個所にて臨時出張施術の求めに應ず

適症　腦病、慢性胃腸病、脚氣、神經痛、リウマチス、婦人病、肛門病

期日　六月廿一日より向三十日間

場所　京城本町二丁目京城バザー（勸商場）樓上（電話二五一番）

東京山下紅療院別府分院
主任　中村節

水道具一切新荷著

硝子食器
硝子製品一切
舶來食器類
菓子水飴瓶
硝子製ハイトリ器

京城本町二丁目
卸商　長門屋商店
橋本信次郎
電話一三二番　振替京城一八七三

◎特別大勉強仕り候間多小不拘御用命願上候

豫報

▲京城溫度　六月二十日正午　京城七十八度八分　測候所最高八十二度[illegible]　最低六十六度[illegible]

明君道中記

第百八十二席　田邊南龍口演

東海道島田宿の手前松並木へかゝつて來た長七郎主從、道端に仆れて居りますのは十七八の娘、癪の爲に苦んで居りまする樣子、是を見て長七郎　長「コレ〳〵宅兵衛宇兵次小娘が仆れて苦んで居る樣子じやが病氣でもあるか見て遣はせ　宅「ハツ」宇平次宅兵衛兩人其處へ參つて娘を抱起して藥籠より藥を取出して口中に含ませる、三次が向ふの流れへ手拭を浸して持つて參つて呑せ種々介抱いたしますと娘はやう〳〵に心付き取亂したる姿を繕い鬢の毛を搔き上げて大地に兩手を突へ　娘「是れは是れは何誰樣か存じませんが見ず知らずの妾を種々御介抱下されまして有難く御蔭さまで命を取りとめました」長七郎は前に出で熟々娘の姿を見て居たが　長「コレ女何うやら癪氣の爲めに苦しみ居る樣子であるから介抱して遣はしたが少しは紛まつたか　娘「妾は時々持病の癪氣に惱まされます、此の儘にならうとするを旦那樣のお情けで助りました　長「然て其方は何れの者で何處へ參るのぢや　娘「妾は鞠子の宿から金谷まで歸る者でございます　長「其方一人で同伴は無いのか　娘「母親が急病でございます故取急いで金谷まで參る者でございます　長「母の病氣に就て金谷宿へ歸るといふか　娘「左樣にございます、急病とのこと故取急いで參らねばなりません　長「何で鞠子の宿へ參つて居つたのだ　娘「何をお秘し申しませう妾の親共は元金谷宿で旅籠屋渡世をいたして居りました處、身代は日々に傾き借財の爲に家屋敷は他人に渡り、據なく妾は鞠子の宿へ參つて下女奉公をいたして居りました處が母親が急病乃で主人より暇を取り是より立歸りまして母の看病をいたさうと心急いで此まで參りました處餘り心配をしたせいか持病の癪が起つたのでございます、然し結構なお藥を頂いて癪も治まりとんな嬉しいことはございません　長「ウム親の爲に奉公をいたし其の上、病氣と聞いて母の許へ歸り看護を爲さんと云ふは又あるまじき孝行娘、然らいふことなら此方が同道して遣はさう　娘「有難うございます」是より島田の宿へ入り大井川を蓮臺渡しにして金谷宿へ參らうといふのでございましたが、何うした譯か島田の宿は大騷ぎでございます、といふのは恰度島田宿へ入つて參りましたが、肥前佐賀の鍋島侯長州萩の毛利大膳太夫の御人數が差かゝつて參つた譯でございますから問屋場役人も狼狽騷いで奔走して居りまする、恁ういふ譯であるから町人などは跡廻しにされて皆渡ることは出來ません長七郎是を聞いて如何に大名が渡るのなればとて往來の者を止めるといふは怪しからん譯、取分け此の娘は親の病氣故一刻も早く渡して遣らんければならんと思召したから、田村宇平次に申し付け　長「コレ宇平次其方問屋場へ參つて毛利家役人に懸合ひ、早速に蓮臺を出す樣に申し付けイ　宇「畏り奉ると」宇平次は問屋場へ參り　宇「コレ川越し役人、役「ヘエ　宇「並の蓮臺で宜しいから五臺出して渡してくれい　役「ヘエ只今毛利家の御通行でございますから其の御人數を渡して御渡し申し上げます故暫くお控へ下さる樣　宇「イヤ急病人があるので左樣に待つては居られん早く出せ　役「早くと被仰つても毛利家で御承知ございません　宇「毛利家で承知をしない、宜しい身共が懸合つて遣はすから役人の許へ案内をいたせ」宇平次は役人に案内をさせまして川越し役人に參ると問屋場の奥に控へて居つたのは毛利家の家來、田村宇平次は其處へ通り毛利家の重役宮澤藤太夫に面會を求めました。

院長　醫學士　森定吉
内科　小兒科
芙蓉醫院
京城本町三丁目瓦斯會社向側　電話二六二三番

六月二十二日　舊五月三日　乙未　本命五黄八方除友引

▲五黄●進口上の事有る日新事見合南方は吉諸願なし▲六白●順潮の日轉居入學金件求職建築名弘婚禮婚取た求る等萬吉▲七赤●好況の日轉居入門名弘探鑛求職婚禮醫井水利藥等萬吉▲八白●共藝義に至る事有る日注意新事手控萬事林藥は妨なし▲九紫●大徳の日轉居旅行出漁名金件求職婚禮先た見舐たる商事等萬吉▲一白●差引のつかぬ事有る日新事手控萬事は吉一切のかけ事ん禁ず▲二黒●大摑みの事有る日新事手控萬事は吉貸出し請印等ん禁ず▲三碧●自重意味の事有日新事手控萬事は吉女子は行儀た謹まるべし▲四緑●擾がれ損の事有日新事手控萬事は吉女錢散財を防がるべし

演藝案内

黄金館　電話二六三七　六五二

天然色活動寫眞株式會社京城營山一手代理店
●六月十七日より新提供▲泰西滑稽棒振り先生▲世界的連續寫眞全十篇二十卷▲大冒險大活劇「ボーリン」（第九第十篇四卷上場）[illegible]

▲新派悲劇「朧月」全五卷［illegible］

壽館　京城壽町　電話一〇三

●竹本彌島太夫歡迎師匠淨瑠璃會　當る六月二十日より向五日間　初日二十日の語り物▲御祝儀入金▲一の谷二段目　竹本彌島太夫　[illegible]

講義　美顏術

通信教授　かみゆひ　帝國美髮女學院
東京牛込區北伏見町二　[illegible]

りん病　急性慢性を問はず博士の最新藥配合の淋病を一週日分一圓十四日分一圓九十錢御用ひあれば全治迅速なり七日分に御購せず直接本舖に御注文あれ本藥は他店に賣らず　京城黄金町三　振替京城三三七番　山田文殊堂藥房

ルーデサック　男用一打四拾錢特製六拾錢　女用一個七十錢特製七十五錢　月經帶一個八十錢一圓各種［送料要］
●有効●保證　麻病梅毒專門藥　淋病梅毒自宅療法　京城永樂町二丁目
東京ドラッグ商會

壽座　京城壽町　電話五七八番

▲大阪大歌舞伎澤村源之丞一行
六月廿二日より廿八日迄日延なし
初日廿二日藝題
前切　東土産「廓の達引」六幕
義經千本櫻吉野山より御殿迄
[illegible]

有樂館　早川演藝部直營

東京小林商會第一手代理店　米國ユニヴァーサル會社特約
電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
◎六月十五日より公開特選寫眞
[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
◎廿日より五日間名譽大寫眞提供日延及割引なし
[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇

▲女流浪界の泰斗廣澤夏菊一行
今回愈々滿師巡業お名殘り特別興行として開演
▲後藤又一郎（菊若）▲幡隨院長兵衛（菊六）▲小栗判官（吉田奈良子）▲千兩幟（京山相生）▲義士傳俊德丸（夏菊）

梅雨晴れ！

濕々した梅雨時にも塗けてサツパリと素肌を美しくいつも若々しい色艶を表現す

日ヤケを防ぐ化粧料

ホーカー液

素肌の美しいのは婦人唯一の誇りで厶います季候の變り目時、特に素肌化粧料としてホーカー液を缺かさずお使用下さい。

本品を缺かさずお使用なさる事は一番簡便に美人となる早道です

お塗けになれば循環を好くするので顔面衰弱を防ぎ、艶、光、彩と云ふ學理上の作用で完全に日ヤケを防ぎ色を白くする事が出來ます、手指襟筋には特に丁寧にお擦り込み下さい。

朝夕の洗面浴後に一二滴

若葉に映らふ素肌の美しさ、季候の變目は特に素肌化粧が大切で厶います

お湯上りに白粉下こしては

白粉のノリノビを補け、素肌を美しく消々として爽快な氣分でお暮しになる事が出來ます、自然の色艶をいつまでも保ち、若々しく御婦人の健康美を表はします化粧料で厶います。

本品のお買求め方に就て……

全國到る處の小間物店、藥店、化粧品店に販賣して居ますが若し品切の際は振替又は郵券切手代用にて本舖宛御注文下さい

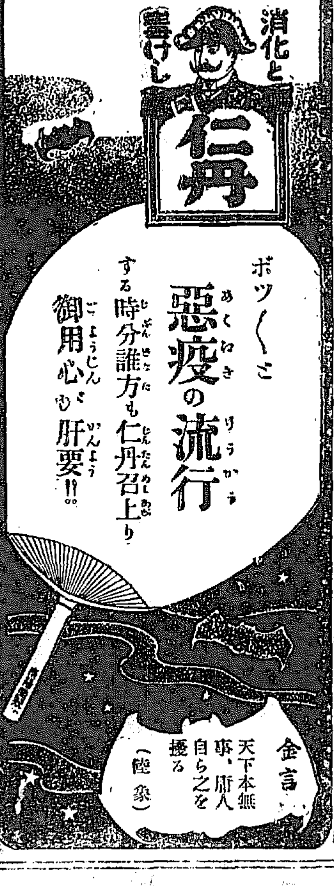
近頃類品多し商標及び堀越嘉太郎印に御注意下さい

定價　小瓶二十錢　中瓶四十錢　大瓶八十錢　送料　内地無料　滿鮮卅錢

ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髮液　ホーカースポート

本舖　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店　電話神田（特長）一四四一〜四　振替口座東京一五六番

天下一品
金牌受領
猪印のみとり粉
南京虫、蚤、油虫等退治全滅する事請合
定價　吹出散布器入金二十錢　立鑵入金十錢、金五錢
到ル處ニ販賣店アリ



消化と毒けし
仁丹
ボツ〳〵と惡疫の流行する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!
金言　天下本無事、庸人自ら之を擾る（陸象）

胃病良藥
ホシ胃腸藥
定價10, 20, 50, 100
東京市京橋區南傳馬町三　星製藥株式會社
各地特約店及藥店にあり
特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

簞笥の内へ
登錄商標
藤澤樟腦
定價　大形金十二錢　中形金七錢　小形金三錢五厘　薬石形大缶金五十錢　小缶金十錢
◎各地藥店にあり
代理店　京城南大門通　新井藥房

“PINE”

是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!

◎大日本政府登錄　米國製正十四金「イリジユーム」付ペン（責任保險付）

◎附言　パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕

完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕

堅牢無比

東京パイン萬年筆出張所　京城旭町二の六

定價　繰出式六圓八十錢　押出式五圓九十錢　イ ンキ止短軸四圓三十錢　最新婦人用三圓八十錢　イ ンキ止實用三圓八十錢

發賣元　京城大平通一丁目　京城日報代理部
振替京城三〇番
陳列所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

貴下ハヘモグロビン不足セリ

醫學士　篠田德三郎氏發見

ヘモグロビン

血液ノ主成分ナル本品ガ身体及神經ニ絕大ノ効果アルハ世既ニ定評アリ衰弱者ハ速ニ用ヒヨ

代價　エキス製　小一ケ月分金一圓卅錢　大一ケ月分金二圓五十錢　粟子製　共ニ美味ニシテ服用シ易シ

各地藥舖食料品店ニアリ（說明書進呈）

發賣元　東京市日本橋區吳服町　ヤマミクミ　大塚造
振替口座東京三七二五番

京城日報

第三版

仁川期米

▲目先保合乎 大阪の成行は前日…

▲全 同店の賣千餘石買二千餘石 ▲安 同店の賣千餘石買千餘石

▲玄米 黄海玄米十七圓三十錢にて八百餘叺出來たり …海州大豆九圓八十五錢

場 高値 十八圓五十九錢 安値 十八圓七十一錢 十八圓五十七錢 出來高 三萬二千四百石

●少女を喰物に 大邱新町生… 金大…

拓殖局の設置

京城日報

我帝國政府は、新領土植民地政務の統一を圖る目的を以て、新たに拓殖局を設置し、從來、各省に分屬したる事柄を、一官廳の下に統轄し其の行務の、簡捷敏活を保つべしと云ふ。

今日、新領土植民地を有するもの、皆、其中央政府に、之を統轄するの官廳を置かざるはなく、英、佛、伊、獨諸國皆植民省あり、往年、露西亞及び北米合衆國亦、植民省を設置するの企畫ありたれども、千九百十四年、歐洲戰役勃發して、一旦沙汰已みとなれり、然れども是れ單に、戰爭の爲めに、暫く新設を見合する、といふのみにして、平和回復後、是等諸國亦、其企畫を實行すべきや言を待たざるなり。

顧みて、我帝國の事歷を見るに、往年新たに臺灣を領有するや、臺灣及び北海道を、統轄するの中央官廳として拓殖務省を置きたれども、幾くもなくして之を廢し、後日、朝鮮、樺太、北滿洲及び臺灣を、統轄する爲めに、拓殖局を置きたれども是れも遂に廢止せられ、爾來、我中央政府に於ける拓殖事務は、行政各部に分屬し、内務省の一課を以て之を統一するといふ有樣なり、世界各植民國は、最も其の拓殖事務を重じ、初め、一課一局たりしものは之を進めて廳と爲し、更に、廳を擴張して一省と爲し、國務大臣をして之を統理せしむるといふ順序を履めるに對して、我は此に逆行して、省より局、局より課に退縮したるは、餘りに不合理、且不自然ならずや。

尤も、我國の過去の事歷、彼が如くなるは、蓋し、亦相當の理由ありて存す、試みに、其一二を云はゞ、我帝國の統制にては、重大なる政務は、悉く閣議に依りて、之を決定するを以て、特に一省を置いて、拓殖事務を擔當せしむると云ふも、其長官は更に閣議を經たる事柄を執行するに過ぎず、是れ一國務大臣をして之を統理せしむるの實用を見ると稀れなる所以なり、且我朝鮮總督、臺灣總督、關東都督等は其權限甚だ廣く、其地位亦甚だ高きを以て、中央の一省の長官に依りて、指揮命令せらるゝ場合甚だ寡し、特に、總督にして 天皇に直隷し、内閣總理大臣に依りて、其事を執り行ふものにありては、特に其の然るを見る、是を以て、我中央に於ける拓殖政務は必ずしも、省を以て之に當るを要せず、一局を置いて之に當らしむるも可なり、課を置いて之に當らしむるも亦、其事に妨ぐる所なきを得る所以なり。

然りと雖も、是は單に、我帝國の過去の事情に就て之を云ふのみ、我は既に、一大植民國たる以上は、之れに相當する所の設備なかるべからず、少くとも世間並みの體裁を具ふることは、當然の業なり、此度設置すべき拓殖局は、内閣に直屬し其長官は親任官たるべしと云へば、固より尋常の一局にはあらずして、英國其他に於ける、廳の類なり、其地位宛も、省と相雁行するものたり故に、我が中央官府の體統より云はゞ、甚だ妥當なるものたり、但し、能く其功程を擧ぐるを得るや否やは、其局に當るものと、他の内閣員との、協同作用如何に懸りて存す。

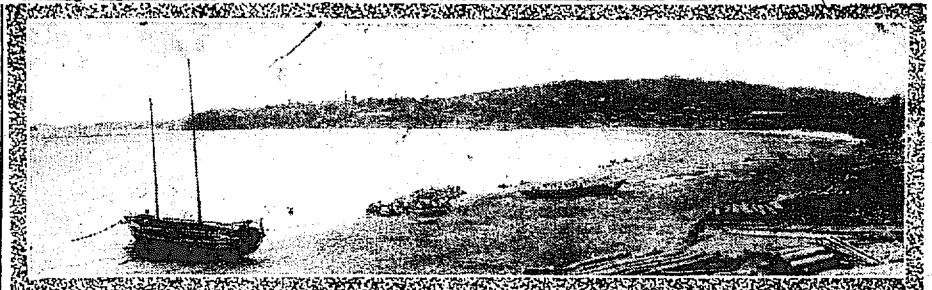
朝鮮の教科書

編輯課長 小田省吾

一、普通學校教科用圖書（其二）

●第一●國語假名遣問題● 當時臺灣公學校（臺灣人を教育する學校にして朝鮮の普通學校に相當す）に使用せる教科書に在りては、例へば『學校』を『がつこお』『行きませう』を『行きましよお』と書く如き極端なる表音主義の假名遣を使用せしが、内地小學校に使用せらるゝ國定教科書は如何にと問ふに、數年前文部省は所謂一式假名遣法を廢し、全然歷史的假名遣を採用したるを以て、例へば『學校』を『がくかう』、『行きませう』を其のまゝ『行きませう』となせり。然るに朝鮮に在りては前二者と大に事情を異にせるものあり。即ち一速に國語の普及を圖ること最も緊切にして、假名遣の難易は其の成績に影響する所至大なること。二朝鮮現存の學校數は前記の如く數千を超ね臺灣と決して同日の談にあらず。又是等諸學校に於ける教師は公立普通學校々長を除く外大抵皆朝鮮人なるを以て、斯る多數の朝鮮人教師に使用せしめ誤謬なき教授をなさしめむには歷史的假名遣は甚だ不便なること以上の理由に依り、朝鮮總督府に於ては學理上最も自然にして朝鮮人に入り易く、且つ歷史的假名遣を學習する場合に出來得る限り困難少き假名遣法を採用し、之に依りて普通學校教科書を編纂し、以て國語普及上著しき效果あらしめむことを期せり。之れ即ち本府制定普通學校用假名遣法及び近假名法にして、實際に於て往年文部省國語調査會にて調査せる假名遣法と大差なきものとす。

●第二●諺文假名遣問題● 朝鮮在來の諺文なるものは一種の表音文字にして使用極めて便利なるも、當時漢文のみ使用せられたる時代には其の使用極めて少かりしが、近時使用の範圍擴大せられ、朝鮮人間常用のものとなり之を知らざれば不便少からざるを以て普通學校に於ても之を教授せしむることゝせられたり。然るに其の記述法近時頗る亂雜に陷り、例へば『앉이』『앉지』『앉다』等と記し一定せざるのみならず、全く發音通りに表記すると、發音に遠かりたる習慣的假名遣法に依るものあるは恰も國語假名遣に於けると相似たり依て又之が統一を圖るの必要を感じ委員を設けて調査せしめ、大體發音主義に依る諺文假名遣法を制定し、之に依り普通學校朝鮮語教科書を編纂することゝせり。



隣邦を奈何……對支國策を確立せよ

中島生

對支策の本義（八）

名實倶に永遠に日支間の親善を期せむと欲せば、須らく最も重きを兩國の經濟的關係に置きて、經濟上の利害を共通せしめ、此の經濟的利害の共通と云ふ強大なる綱索を以て緊く結び付けると云ふ事が、第一の要事である。近世國際間の紛爭は、其端を如何なる近因に發するにせよ、其根本の原因は、必ず經濟上の利害の衝突に非るは莫し。歐洲の大戰亂と雖も、詮ずる所經濟上の利害衝突の結果である。經濟的利害關係の一致する所に、抗議も、交渉も、最後通牒も、宣戰の布告も、其の必要は無いのである。日本と支那との關係は、他の如何なる國との關係よりも濃厚に親密であるべき筈であり乍ら、薄膜を隔てゝ即かず離れざる不得要領の間に彷徨せるの狀態に在るは、從來兩國の間に於て、政治的關渉の多きに過ぎて、經濟的交渉の疎遠なりしに因るのではあるまいか。假りに支那の立場より考ふれば、從來支那として、必ずしも歐米諸國と較べて、經濟的に日本より得る所多からざりしに反して、日本との間の政治上の關係が餘りに面倒であつたと云ふ事が、支那の民心をして、日本に厭かしむるに至つたのではあるまいか。早い話が、日本と云ふ國は、あんまりコセ付く國である。七八釜しい國である。文句の多い國である。面倒な國である。此う云ふ風に支那人は日本を見て居るやうに見える。利子を拂つて同じ金を借りるなら面倒臭い石部金吉から借るよりは、鷹揚な大家の旦那から借りた方が、氣病みが少なくて暢氣である。日本には從前、大金を支那に貸す餘裕もなかつたが、兎角支那人は歐米人から借りる事を目安く考へて居るやうでもある。借金の關係から義理が出來て、歐米人の跋扈を抑へ切れぬやうになる。今でもさうである。動ともすればサアベルの音がガチャ々聞ゆる日本の對支外交よりは、假令金で頬を叩かれても米國などの非籍外交の方が親しみやすいのであらう。併乍ら、如何に支那が財力缺乏して、資を歐米に求むるの切なるものあるにせよ、資金を借りたが爲めに、不知不識の間に、白人勢力の所謂『平和を標榜する侵入』を導き入れるが如き形勢は、支那の爲めに、將又自他の爲めに、日本は努めて之れを排除し、又た斯くの如き傾向は、努めて之を防遏せなければならぬ。素より支那をして救急已むを得ざる借款を、歐米に求むる事を妨げる權利は、日本之を有せないのであるが、政治的性質を有する借款には、干渉を辭する必要はない。又日本は責任を以て支那の財政の整理を幇助すると云ふ見地より、已むを得ずして外國に借款を仰ぐ場合には必ず之が相談に關與する權利を握つて居らねばならぬ。それには日本に對する支那の充分の理解と信頼とがなくてはならぬ。否らずして斯くあらむ事を求むるのは、求むる方が無理である。此れが今日の日本の煩悶であり、焦慮の種である。

要するに、日支の眞親善は、原則として、經濟的關係の密接と云ふ事を基礎とせねばならぬ。之を外にして、他に最善の策を案出する事は出來ないのである。

流燈數千、篝火幾百！

◆六月二十三日（土曜日舊節句）◇午後正八時開始同十一時終了の豫定なり ◇會場は龍山漢江の鐵橋下より◇麻浦前面に亘る江上及沙上一帶 ◆朝鮮故例の壯絶快絶なる雅遊

漢江觀火大會

◆交通機關は新舊龍山への二道の電鐵及び鐵道 ◇漢江々岸に蝟集の幾萬觀覽者諸君こ流燈數千！篝火幾百！打揚煙火！仕掛煙火！ ◇燎火炎々の大偉觀に歡呼抃舞せん哉

打揚仕掛の煙花燎亂！

日報詩壇

朝鮮風俗雜吟 大久保晩香

居喪

廝緩竹蓋迭三年。追遠猶存禮數虔。告朔餘羊誰一視。勝他墓畔絶香煙。

妓生

玉腕金冠舞袖斜。依稀仙女降於霞。江飛紫散春如夢。曾是深空苑裏花。

蓄妾

花臉柳眉忙迭迎。春風春雨倚闌情。丈夫無骨學痴蝶。却向世間誇富榮。

文廟

文廟蓁頭登儼然。空看釋奠致恭虔。鄕原今日滿天下。夫子定知悲九原。

書堂

蛙鳴蟬噪是咿唔。衆誦一齊搖體軀。憾讀聖經無活眼。先生估畢漫稱儒。

新小說豫告

「誰」 布施生譯

探偵手段の推理的な點に於いて彼のドイルの師匠株であり而もドイルには見當らぬ人情の絡んだ此の『誰』の作者はコナンドイルであつて探偵物と云へば大抵は人情に遠ひけれど之れは其の點に於ても遺憾がない局面の變化の多い事は今喋々を要せぬ近く朝刊一面に連載すべし必ずや我愛讀者諸君は大喝采を以て歡迎さるべく期して疑はぬのである乞ふ掲載を待たれよ

發行の主趣

化學工業界天賚の大著

化學工業に依て世界を征服したる獨逸は、其軍國主義の爲に反て世界に征服されんとす、武力の時代は去て今や化學工業の實力時代は來れり、歐洲大戰後に於ける帝國國策の大綱は之を要約すれば化學工業の一語に盡く、本書は一部全三巻、總紙數三千二百頁、苟も化學工業に關する一切の事項題目は之を網羅して剩す處なく、苟も網羅する所の事項題目は之を詳かならざるはなく、直ちに工場裡に應用して寸毫の違算なからしむ、本書は我國斯界のオーソリチーたる兩博士が多年の心血を傾倒して初て大成を見たるもの、其說く處は高遠の學理なりと雖も而も之を說く平明懇切、今日初めて化學工業に志すの人と雖も明日直ちに起て化學工業の經營に成功するを得せしむるものは實に本書也、本書を讀む事一日を後るゝは讀者の爲に一日の損失たると共に、帝國雄飛の爲に一日の損失を加ふるものと謂はざるを得ず（内容見本は申込第次進送す）

工學博士 西田博太郎 藥學博士 慶松勝左衛門 兩先生共編

實驗 化學工業

全三册 五千部限

一時拂込 特價金拾五圓 定價貳拾圓 月賦拂込 金拾八圓（六、七、八の三月間金六圓宛拂込の事）

●背革平クロース角革〇天地附金文字入〇印刷鮮明 裝釘堅固〇本文六號活字三段組〇總紙數三千二百頁

郵送料 内地金六拾錢 朝鮮滿洲臺灣金壹圓貳拾錢

本書の内容

第一巻 製本既成
第一編 工業藥品 第二編 醫療藥品 第三編 電氣化學工業 第四編 鑛業 第五編 火藥及煙花 第六編 燐寸 第七編 建築材料 第八編 窯業 第九編 接合劑 第十編 護謨 第十一編 セルロイド

第二巻 六月三十日發行
第十二編 染料 第十三編 塗料 第十四編 脂肪及樹脂蠟 第十五編 燃料及燈料 第十六編 石鹼及化粧品 第十七編 インキ及墨 第十八編 製紙 第十九編 製革 第二十編 肥料 第二十一編 醸造 第二十二編 製粉 第二十三編 製糖及製鹽 第二十四編 冰冷却法 第二十五編 木材乾餾

第三巻 八月三十日發行
第二十六編 寫眞及製版印刷 第二十七編 食料及飲料 第二十八編 牛乳製作品 第二十九編 人工營養品 第三十編 廢物利用 第三十一編 鑛泉 第三十二編 纎維 第三十三編 工業試驗所報告 第三十四編 衛生試驗所報告 第三十五編 化學工業に關する法令 第三十六編 化學工業に關する特許摘調査 第三十七編 化學工業に關する最近諸統計 第三十八編 度量衡比較表 （附）五十音索引・挿圖總目錄

發行所 化學工業發行所 東京日本橋川瀬石町十一 振替口座東京七四一五番

滿鮮一手特約所 大阪屋號書店 京城本町 振替二五七三番 電話六八四番二〇八六番 （同店）大連 旅順 鐵嶺 釜山

○黎總統に勸告せん
張勳氏の提案に就て

十九日大總統府にて會議あり張勳、李經羲、王士珍、江朝宗等諸氏出席の上張勳氏の提出に係る左記條件を容るべき事を黎總統に勸告する事に意見一致せり(北京特電)
▲責任內閣を組織し大總統は同內閣の權能に不干涉の事▲督軍を滿足せしむる樣憲法を修正し並に議會を晜院とし議員數を減ずる事▲前皇室を優遇すべき協定條件を憲法中に加ふる事▲新議會の召集

○獨逸三火藥庫爆發

獨逸スタンフエルドの火藥庫三ケ所爆發破壞し多數の死傷及び負傷者三百三十餘名を出し損害甚だ大なり獨維也納よりの一報道は右の爆發は同盟罷工の爲めに起れるものにあらずと否認し居るは注目に値す(倫敦電報)

○獨機白國首都攻擊
軍需工場破壞=死傷者夥だし

六月十六日白耳義現首都に對して獨逸の大々的空中攻擊行はれたるが此攻擊に依りて同市(カレルフレルス)大軍需品工場の內部は全然破壞され無數の死傷者を出せる事判明せり(アムステルダム電報)

○田中中將罹病

田中參謀次長は佐藤少佐、坪井大尉を隨へ十九日午後七時二十分京奉線にて奉天着大和ホテルに投宿翌二十日張督軍の午餐會に赴き夜は滿鐵公署に於て督軍を招待する筈の處アミーバ赤痢の爲め中止し奉天にて靜養中なり(奉天特電)

●驛屯土の分筆
調査に就て

和田土地調查局總務課長談

今回總督府訓令第二十四號を以て本局に於て驛屯土の分筆調査をも爲すこと〻爲つたのであるが、元來驛屯土は群山、木浦、新義州を除き、朝鮮全道の各府郡に亙りて存在し、其の面積は約

▲十二萬町步 もあつて東拓の全所有地に比し殆んど五割許りも多くなつて居る。其の筆數は五十八萬餘筆、小作人の數は二十六萬三千餘人、小作料の年額は約百五十三萬圓許もあるのである。驛屯土の管理は從來概測地圖と臺帳とに依つて居たのであるが、土地調查の結果精密なる地圖や臺帳が出來て、是等の地圖や臺帳の關係が精確に一致せざる結果を生じ、管理上支障少からざる譯があるのと、今一つは固と土地調查局の調査に依る一筆地の廣狹は主として地主關係より之を定め、同一地主の所有する連續せる同一地目の土地は著しき高低其の他の相違なき限りは成るべく之を一筆として調查することゝせられたのであるから隨分廣大なる面積を有する一筆地も少くはないのであつて殊に驛屯土に於ては斯る場合が多いのである、例へば

▲土地調查の の概算筆數に依ると、驛屯土の總筆數は約二十五萬筆に過ぎないので、殆んど從來の驛屯土筆數の半數であるから、更に之を細分して成るべく小作人別に測量して各小作地の面積並に收益を確實に知るの必要があるので、今回の分筆調査を施行することになつたのである、本調査は先づ驛屯土の地番を調べて置いて八月頃其の地籍圖の謄寫を爲し、來春より實地調查に着手する計畫である、調查の結果は驛屯土の精確なる小作人別地圖及び臺帳などが出來上り其々郡廳に備付けらるゝことになる次第である

●留暴落の一原因
共產主義實行か

浦鹽商況に付き或る筋の調査を聞くに輸入禁止令の效果は最近に至り漸く顯著となり輸入貿易減退し著しき影響あり又露貨の暴落は輸入商を悲觀せしめつゝあるが輸出向は貨車增配のため船腹にして見出さるれば相當出荷あり從つて輸出爲替の取組も小繁を呈し居れり尙ほ露貨の暴落は停止する所を知らざるが其の一因として浦鹽には露國勞働者大會ペトログラードに開かれ共產主義の決議及び實行をなすべしとの風說あり露國資產家はために前途を悲觀して其

●咸北牧羊有望

咸北道にては綿羊及び山羊繁殖の目的にて數年前より支那種を輸入し鏡城、穩城、慶源、慶興の各郡に配付し試育中なるが此種は間島及び琿春地方の風土に適し能く繁殖せるを以て本道の風土にも亦た適すべく殊に本道は所在草生地に富み將來極めて有望なるを以て益々之が繁殖の研究に力むべしと(羅南)

●黃海旱害狀況

黃海道の旱魃につきては既報せるが其後更に聞く處によれば

▲飲料水 飲料用井戶、河川の三分の二以上は枯渇し地方に依りては全く缺乏し溝、溜水等の汚濁水を飲料に供しつゝあり一般に飲料水附近は多數集合し順番にて少量宛分配しつゝある狀況にて警察官憲は之が取締並に善後策に苦心中なり又海州に於ては目下工事中の水道貯水池を開放し附近鮮人等は非常に喜悅し居れり

▲農作物 水田今春以來降雨少き爲め耕作せざるもの多く苗代は龜裂を生じ苗の枯死するもの非常に多し今尙幾分かの望あるも晝夜詰切にて引水に狂奔し所々に喧嘩口論等起り郡當局、東拓會社、地主等は救濟策に奔走中なるも最早や施すに策無く不結果に終り今後降雨あるも苗の不足し其影響決して尠なからざるに此所數日間の內に降雨無きに於ては收穫なかるべしと農民は頗る悲觀しつゝあり其他大麥小麥は結實至つて不良にして三割以上の減收なるべく粟、大豆等も發芽不良にして二三回蒔き替へたる地方さへあり尙高地にあるものは枯死せるもの多し

▲影響如何 民間到る處迷信的流言蜚語傳はり一般に不安の念に驅られつゝあり諸物價は日に騰貴し加ふるに地方金融組合金貸業者等は貸出しを差し控へ地主は小作人に對し例年の如く金穀物前貸を爲さず生活困難の爲め他に轉住する者あり載寧郡三支面は一面にて三十餘戶の轉住者を出せるあり

●蔘精紛紜落著

京城蔘精製造業者間の紛紜に就ては既報の如く長谷川町の須藤製藥所が排他的の廣告をなしたるは穩やかならずとて京城同業者より抗議を申込み須藤氏は又事實を事實として廣告せしに過ぎずとの主張を改めず或は事態面倒ならんとする模樣あり折角內地市場に於て聲價を昂げたる蔘精のため此の紛紜は遺憾なりとの說ありしが聞く所によれば最近蔘精業者役員數氏と須藤氏は南大門外の町內集會所に會見協議を遂げし結果相方互讓的態度をとり圓滿の解決を告げたり而して其の協定要領は須藤氏側よりは水飴混入云々の如き廣告文を記したる引札を出さゞる事、又京城の蔘精には同樣の粗惡品なき事を同業者連名の上適當の廣告手段をとる事其他につき讓步し又須藤氏は同業者の一二に對し免稅の手段として內地の關門たる下の關稅關に水飴混入品なれば云々の如き申告を出さざる事蒲洲支那本土產の人蔘にて朝鮮蔘精と稱する者を製造せざる事商標類似の手段を避る事等に付承諾を求め結局其の協定成り今後は朝鮮蔘精界の聲價を墜ぐる事に同一步調をとる事となれる由

●北鮮隧道竣工

松本組請負に係る茂山嶺七隧道中一號より六號までは既に竣工し最も難工事たる第七號隧道のみ殘り居たるが同隧道工事も愈々本月十日全部竣工を告げ十三日松本組より鐵道局に引渡を了せりと尙ほ清會線軌條引延しは蒼坪より全巨離まで到達せるを以て此間は列車の運行を見るに至れり(清津)

●濁津輕鐵其後

鏡城郡生氣嶺の石炭及び粘土を搬出すべく礦山より濁津港までの輕鐵布設に就き清會間の不用輕鐵軌條使用の件は當事者より陸軍に出願中の所此程許可ありたれば近く松本組に於て布設の運に至るべきが同輕鐵布設されんか同礦山經營者の計畫せる如く月々千五百噸の粘土を內地に搬出し尙ほ搬出困難にして販路に苦める同礦山の石炭を北鮮各地或は對岸浦鹽に供給するに至るべし

●地方費經營苗圃

大正六年一月より同五月迄の京畿道地方費經營樹苗圃事業狀況を聞くに播種量百石八斗七升插條數四千百本掘取苗數十二萬四千六百五十本床替苗數二百六十二萬四千四百六十四本にして明春生產見込數は合計五百五十九萬九千四百四十五本なりと

●京畿度量衡取締

度量衡法實施し來已に八年に垂とし殊に京畿道は大正元年六月本法の一般施行に先ち汎く之が實施を見たり由つて同法の旨趣は一般に周知せられたるものあるべしと雖も新器の普及完からざるのみならず之が計量の方法亦區々にして取引の正確を缺き未だ以て所期の目的を達成する域に至らず加ふるに既往に於て普及したる新器も往々破損又は差狂を生じたるものあるの外之を不正に使用するものあり或は竊かに新法實施以前の舊器を使用する者其の跡を絕たず而かも本器の用たる經濟取引の正確と統一を期するに在り一日も之を忽諸に付すべからずと雖も當時に在りては同法旨趣一般に周知せられざるものあるべく從つて直ちに違反者を處罰せむか刑辟に觸るゝ者の徒らに多からむ事を憂ひ當局は其の取締りを寬にせり然れ共今や該法令の旨趣を一般に徹底し萬般の施政日に整備の域に在り取引の尺度たる本器と其の使用は漫然之を人民の陋習に放任するを許さず即ち自今是等犯則者に對しては其の無智なると錯誤たるとの情狀の如何に拘はらず普く嚴に課刑を以つて之に當るべければ管內一般人は此際當局の旨趣を思ひ進んで自家と其の利用の策を講じ新器の取得の利益を增進すると共に取引の正確と安全を期し刑辟に觸るゝ事無き樣注意あるべしと

●清津地方の氣象

清津地方は先月來濃霧期に入り連日の濃霧は氣溫を著しく低下せしめ初夏の候にも尙ほツス寒を感ぜしめたるが十四五日頃より天候快晴と共に氣溫上昇し寒暖計も七十四五度を示し初めて夏の氣分となれり(清津)

●坂田公使通過

西班牙公使坂田重次郞氏は二十日午後十時半滿鮮直通列車にて釜山發翌二十一日午前七時五十分南大門驛通過北上の豫定なり

●張道長官入京期

新忠北道長官張憲植氏は平壤より二十一日午後七時半南大門驛著列車にて入京天眞樓に投宿し二十三日赴任の途に就く豫定なりと

●高瀨理事歸期

東上中の東拓理事高瀨梅吉氏は二十日東京發途中大阪に立寄り二十三日南大門驛著歸任すべしと

●大阪より

青霞生

▲近時の企業熱に煽られ夢に牡丹餠を食ふが如き會社の簇生は戒むべき怪現象なり曰くプレミヤム附株式募集曰く收益年何百萬圓曰く配當何割何分と目論見書の大袈裟なる眞に驚くべし事業界の夢遊病者日一日と多からんとすソムナンブリストは尙未だ許すべし業裏に巣くふ毛虫の如き惡德企業家の跋扈は戰慄に値す。▲例年激烈なる競爭をなし來れるビール販賣戰は僅にキリンの奮闘とカブトの日光返還騷ぎぐらいにて今年は一向花々しからず加之にアサヒ、キリン、カブト三社協定して約二割方の値上げに小賣業者ビヤホール等は少々當てが外れたるが如し印度方面輸出の增加は時に品切を告ぐる好況に進んで競爭の必要なしと各社共沈著き拂つて鼻息荒し泡にならずんば幸ひ。▲製罐材料輸入難のため工業用古汽罐の使用激增したる折柄水道上水價格不廉のため多く汽罐用水は腐蝕の度高き河川濁水を使用し居れる現狀にて危險なるもの少なからず河川水には沈澱物多く遊離銅を含有し汽罐の部分的膨脹を來し爆發の慘禍保しがたし工場用水道上水の低廉なる特料率を制定するの要あり當局の考量すべき問題なり▲風漸く暑し大阪は又近く釜中に入るべし(六月十六日)

人事消息

▲張憲植氏(新任忠北道長官) 二十一日午後入京當地に投宿の筈
▲伊藤靜枝氏(慶南務官技師) 二十日夜歸京
●京畿食堂會の漁獵會 京畿道並に同道務部及び憲兵隊の重なる者にて組織せる京畿食堂會は來る二十四日仁川に於て漁獵會を催す由

□南言北語□

歐洲戰爭の頓と乘りのせぬ樣になつたのは相方聊か戰ひ疲れた氣味だ▲海上では相も變らず潛航艇が跳梁して居るが陸上では米國から應援兵も來た筈だのに佛軍がボツ／＼成功して居る許りだ▲露獨方面は何うかと云ふと之れはテンからお話にならぬらしい▲同方面の戰線では二箇月位以前から露獨兩兵間に物々交換が盛に行はれて居る▲之は無論獨逸側の申込らしいが交換品は獨逸側から麵麭、砂糖、牛酪等であり▲露兵側からは其の代價として時計、小刀、鋏入、剃刀、卷煙草等を與へて居る▲殊に獨逸商人は黑パンや其他の食料を露軍の鐵條網を潛つたり斬壕に這入込んだりして賣つて居る▲斯う云ふのだから戰爭處か極親密で平和だ戰爭は最う濟だ位に思つて居るらしい▲獨逸の將校中には之れは獨逸軍隊が露兵の饑餓を救助する樣なものだと反對者もあるけれど▲軍司令官は知らぬ顏をして密に之れを奬勵して居る▲露軍司令官は此の狀態を大に憂慮して斯うして居ては露兵は遂に謀叛を起すかも知れないと之が防遏策を講じて居るとの事だ▲露國政府が戰は何時迄も繼續すると云つて居ても主要な兵隊さんが之れでは▲露兵果して決戰の勇あるや否と云ひたくなつて來ると云ふから▲何なら實驗したホヤ／＼の革命を最う一度獨逸で實地に見せてやつたらどうだらう▲之れ丈けはたしかに獨逸兵より露兵が上手だ

物品賣却廣告
一葉煙草貳千參百四拾五貫五百匁
右賣却ス詳細ハ大正六年六月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正六年六月廿日 朝鮮總督府

蠶繭 生糸、屑物 高價買入
龍山漢江通八番地 河原繭糸店 電話長四二一番

新式耐水調帶 新田帶革 ハンタ調帶
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
定價表申込次第送呈

移轉擴張
●鑛物各種分析 附電解裝置
△設備完成 △正確迅速
時運の要求に迫られ移轉擴張
京城太平通二丁目百廿二番地 稻荷社向側小路(朝陽分析所事)
松永分析所 電話二八二三番

京日案內
普通一回前金五十錢 番外一回前金(匿名一回拾錢增し)
▲申込後中途掲載中止の節は前金返戾せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

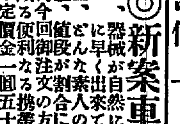
普通
●貸本格安讓る數千冊分讓差支なし 大連市大山通 藤原文華堂 電話一二七二番 145
●融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 京城大和町三の三弐(柄澤前) 起木屋 136
●店員入用 市內に身元引受人を要す 京城花園町電話一四六一番 難波酒造場 174
醬油販賣人入用 市內に確實なる身元保證人を要す 龍山元町二丁目 關西商會 175
●樂器萬年ペン物理機械謄寫版の修繕 本町ウツボヤ書店工作部電話一二七七 149
●被雇たし高等小學卒業本年十七歲商業に經驗あり會社商店を望む御採用の方は肥後富岡町新海方寺內 16

番外
●鑛物定量分析 太平町二丁目 電話長二三四四 朝鮮公論社左横小路 坂元分析所 164
無經驗者に出來る好事業讓る 目下盛に賣れつゝある純益莫大有名なる賣藥劑權讓ず急ぎ讓る 南大門通五ノ四 鈴木 電二五六七番 170
回良店員一名入用 二十歲前後にして市內保證人ある外交員に適任なるもの 旭町一丁目 淺野樂天堂 173

公告
大正六年七月一日ヨリ第三回定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
大正六年四月三十日當社臨時株主總會ノ決議ニ依リ左記ノ通リ本社ヲ移轉ス
新所在地 朝鮮慶尙北道大邱府幸町一番地
舊所在地 朝鮮慶尙南道釜山府榮町二丁目三番地
右公告候也
大正六年六月十九日 朝鮮輕便鐵道株式會社

左官材料値上廣告
昨年以來原料騰貴運賃高率の爲め當組合に於て左記の通値上致候に付此段廣告仕候
大正六年六月十八日 京龍仁左官材料販賣同業組合
改正定價表

沸化石灰 叺入	八十錢	生石灰 百斤叺入	七十錢
俵灰	八十五錢	淺黃土 一俵	一圓卅五錢
黃土	二圓五十錢	吟南草上 一貫匁	八十錢
同並	六十錢	苧莇上 一貫匁	七十錢
同中	六十三錢	同並	五十五錢
色砂其他	三割値上		

新案車附(バリカン)

◎新案車附の三大特長
一、器械が自然に滑つて行くから刈込が非常に早く出來て素人の方にも心地が好い
二、どんな方にも旨く使へる
三、値段が割合に安くて堅牢だ
尙今回御注文の方には景品として頗る便利なる携帶用安全髮剃一ケを無代進呈
定價金一圓五十錢 郵稅內地入錢領土卅錢
東京市神田區東福田町 振替東京三六七〇四番 昇本堂

◈**大阪大歌舞伎**
▽義經千本櫻天下一品の狐忠信の名優
澤村源之亟一行來る
□□大道具大仕掛けにて御覽に入れます□□
見落す勿れ 六月廿二日より廿八日迄一週間
□日延なし
京城 壽座

內科小兒科婦人科眼科
京城南山町二ノ四六(三越合宿所上)
三元堂醫院 電話一壹二四番 小山亨

一氷 賣出し廣告
一飮料及冷用氷大賣出に付卸賣御希望の方は至急御申込被下度候
京城漢江通一三
京龍氷販賣組合會所 電話(龍山)五二二番

▲船遊の好季節
遊船 貸船
▲御一報次第參上 御相談可申上候
漢江遊船俱樂部 龍山元町河岸 電話一〇番

●白仁長官東上 白仁關東都督府民政長官は二十日……直ちに東上せり(大阪特電)
……生敎室の天井墜落し生徒六名負傷せり(大阪特電)
●六人組僞商人 去月三十一……れ居る由を聞込みたる釜山署の刑事は直ちに崔を取調べしに二三箇月以前より數額を度々持來る五六人……定の前科者金善敬(三七)閔正守(三六)朴正範(三五)金大年(三五)金鳳業(三三)の六人共謀して稅關構內及び棧橋市內……ろもの……東萊附近に……家を構へ……商なりと……を圍ひ贅澤に暮しゐた……取押へられ大邱警察署に引致取調べ……原籍香川縣綾歌郡坂出町當時大邱東……大邱東城町……方三谷和吉事古市武吉(四二)は同所飮食店李東……方に飮食代三十二圓を不拂ひのまゝ他へ轉住せんとせしより……光州署に拘引檢事局へ送らる

李王殿下 東京御出發
三島王世子別邸御滞在後の御旅程

李王殿下は廿日午後二時東京驛發午後五時三十分三島驛著王世子邸に入らせらる其の後の御豫定左の如し（東京特電）

二十一日　三島御滞在
二十二日　午前七時三島發午後四時十分京都著御旅舘圓山長樂舘
二十三日　京都御滞在
二十四日　同上
二十五日　午前七時京都驛發午後四時四十分宮島驛著御泊嚴島岩總旅舘
二十六日　午前十時三十分嚴島棧橋發同十一時宮島驛發午後四時三十分下關著御泊春帆樓
二十七日　下關發
二十八日　京城著

王世子 三島へ御先發
―李王殿下を京都まで御見送り

李王殿下廿日午後二時東京驛發御退京三島李王世子邸に入らせらるゝに付李王世子垠殿下は嚴贊侍金武官小山典醫を隨へ午前八時四十五分東京驛發汽車にて三島御用邸に御先發あらせられたるが李王殿下と同御用邸に御一泊二十二日午前七時三島驛御發京都に成らせられ二十五日同地にて親しく御見送りの上御歸京あらせらるゝ由（東京特電）

金剛山を背景に 淪落の女を
釋王寺で見た其れを小說の材題に！
嶮岨を冐して山中へ＝菊池幽芳氏談

過日來金剛山探勝中なりし小說家菊池幽芳氏は廿日入京廿一日朝歸阪の豫定なるが氏は往訪の記者に語つて曰く

金剛山の景は實に雄大でしたあゝいふ山は他で見る事は能きません金剛山に行つて失望して歸つた人は無いと云ふ話でありますが

□それに違ひ ないと思ひました、金剛山中の九龍淵は人の絶勝と稱する處でありますが而し瀧見を目的として行くと失望するでせう瀧の壯大なる點になると日光の華嚴どの方が遙かに雄大のやうに思はれます金剛山の眞の絶勝を見やうとする人は更に深く嶮を冐して山中に分け入らなければ不可ないと思ひます私は今度九龍淵から更に甚だしき

□嶮岨を冐して 八潭を見下す處に登りました、其處に登ると八潭は千仭の谷底に藍の如き水を湛へて此上なき絶勝でありました私は更に萬物相にも登攀しましたが遙くから眺めて居る風景よりも嶮を冐して山中に深く踏入ると更に奇なる山貌の眼を駭かしむるものが尠くありませんしかしこれは

□餘程の冐險 家で身體の輕い人でなければ危險であらうと思はれます、山中は寒むからうと思つて居りましたが、神溪寺摩訶衍といふやうな處は寒いが溫井里附近などは夜も暑く浴衣で居ても恰度いゝ位でした。歸りに釋王寺に立寄りました釋王寺の前で汚たない古浴衣を著た女が子供を朝鮮式に腰の邊りに背負つて

□男の朝鮮人 と頻に早口で話し合つて居るのを見ました何を話して居つたのかそれは朝鮮語でしたから私には分りませんでしたが女が日本の浴衣を著て居ると云ふ事が不思議でしたから私は其の女を注意して見て居りましたその內に其の女は私が寫眞を撮つて居る處に這つて來て

□繪葉書を拵 へるのですか と純粹な日本語で尋ねたので私は此の女が日本人であるか朝鮮人であるか一寸見當が付かなくなつて終ひました後で聞いて見ると女は此の邊に住んで居る鮮人鑛夫の女房に成つて居る日本人であるが此女は非常に下等の朝鮮語を使つて毎日人の惡口ばかり饒舌り廻るし其の上下司で無遠慮で

□亂暴で始末 に負へぬ代物で朝鮮人部落でも皆から爪彈きされて居ると云ふがそんな女だから大抵內地の生れ故鄕は穢多村であらうと其の附近に住んで居る內地人が噂をすると女は大いに憤慨して京都の生家から戶籍謄本を取寄せて皆んなの鼻ツ先に突付けて見せびらかして歩いたが見れば

□立派な士族 であつたと云ふ事であるがあの雄大なる金剛山を背景に斯んな風に淪落した殖民地の女を小說にでも書いたならば面白からうと思つて居ります。

●我が水雷艇隊 敵艇擊沈

英國海軍省發表に曰く日本水雷艇隊は十三日地中海に於て敵潛航艇を攻擊し是を擊沈したりと信ぜらる（東京特電）

●水雷に觸れて
雲海丸の沈沒

門司中村組所有汽船第七雲海丸が孟買沖にて沈沒せりとの報あるも其筋には未だ公報なしされど右は事實なるが如く沈沒の場所より推測するに去る二月印度洋に出沒せる獨艦の敷設水雷の搜海に漏れたるものが浮流中同船に觸雷せるものならん船員中二、三名は死傷者あるが如し（東京特電）

●違反漁夫八十 四名檢擧

慶北にては五月一日より八月末日までの間長さ四寸までの鰊兒の漁獲を禁止し若しこれに違反する者あらば容赦なく相當の處分をなす道令を以て公布する所ありしが去る十四日より十五日に亙り迎日郡大松面松亭洞の沖合に於て多數の內鮮人が禁止され居る鰊兒を獵り居れるを發見し浦項憲兵分隊より憲兵及び憲兵補助員が數隻の漁船に分乘して現場に漕ぎつけ八十四名の內鮮人を引致し漁獲に使用せる地曳網四張及び漁獲したる鰊兒三千貫を押收して目下嚴重取調中

●大邱の大相撲
初日勝負

大邱に於ける大相撲初日（二十日）は未明より響き渡る櫓太鼓の音も勇ましく空は一と際曇りたるも雨とはならず午前十時頃早くも觀客は相撲場に滿ち滿場立錐の餘地なく午後五時三十分極めて盛況裡に打出したるが重なる勝負左の如し（大邱特電）

筑後川　友渡
矢筈山　國見崎
敷島　若島
太刀山　土州山
太刀嵐　荒玉
清瀨川　紅葉川
伊勢濱　黑瀨川

▲二日目取組

大邱興行二日目（二十一日）取組左の如し（大邱特電）

友の山　友渡
矢筈山　曾根松
小嵐　國見崎
荒玉　太刀嵐
若島　清瀨川
紅葉川　敷島
土州山　黑瀨川
伊勢濱　太刀山

▲懸賞銀盃は 筑後川へ

大邱の大相撲に於ける本社大邱支局の御好み相撲として大々的興味を以て迎へられたる決勝五人拔は午後二時三十分より初まり何れも雌雄を決せざる事約三十分に亙り觀客互に手に汗を握りて夢中となりしが斯くて勝負十數回に達したる時勝は終に筑後川に歸し大喝采の中に懸賞銀盃及び副賞品數點を受けたり

接待券

サッポロ ビヤホール 大生園（本町五丁目新町手前）

の新築落成を祝し本票切拔きの上同ビヤホールへ御持參の御方へは

サツポロビール大瓶壹本 無代進呈致候

本票有効期間大正六年六月廿一日正午十二時より同日午後十二時迄
一塲外持出は堅く御斷申候（塲內御飲用の事）

大日本麥酒株式會社京城出張所

●昨夜の雨はホンの一時的！
降雨は一部分だ＝京城測候所員談

今日降るか明日降るかと待ちに待ち焦れてゐた雨は却々降り相にもなかつたが二十日午後九時頃から一天墨の如く掻き曇ると見る間に閃電雷鳴さへ起ると同時に大雨沛然として臻り人々は黃金の雨よと許り喜んだ其の後雷鳴歇み小雨となつたが果して此の雨が何の位の區域に及び何の位の潤ひを來したであらうか今京城測候所員の談を聞くに『此の雨は局地的に發生した低氣壓の驟雨性の雨であるから降雨の區域も狹く且つ永續の見込もない雨量は十時の測定では六粍半であるから一坪一斗一升七合に當る割合であるが要するに未だ仁川觀測所からは何等の報告に接しないから今の處では之れ以上を語る便宜を持たぬ云々』

●藝術座の 大成功
朝鮮主なる都市を巡業す

十三日初日開演以來好人氣なりし藝術座松井須磨子一行は十九日の千秋樂に於いて一座の最も得意とせる『飯』及び『復活』を出したるところ非常の人氣にて開場早々忽ち滿員札止めとなりたるが何れも手馴れたるものだけに非常に面白く各幕毎に喝采を博したり、而して同一座は二十一、二十二の兩日鎮南浦に開演するを振出しに平壤、仁川、元山、大田、群山、木浦、大邱、釜山等を巡業し京城に演じたる各藝題をそれ〳〵出す由なれば成功は疑ひなかるべく朝鮮到る所渇くが如き好評を博すべし然して京城の龍山側にては今回の大成功自祝の意味にて二十日正午より清華亭に島村氏以下の藝術座俳優連及び關係者後援者等を招待して送別の意味にて大宴會を催したり、尙ほ又一座は二十日夜盛んな見送りを受けて鎮南浦に向けて出發せり

富士山と太刀山
＝巡業中の彼の樂しみは五六年前から習ひ初めた富士の繪を描く事で＝

□一たび土俵上の人となつて喇叭の呼吸を圖り大象の佃へるが如く、巨巖の生はたるが如き仕切の構へに相手力士を睨まへるの時こそ、全く、鬼をも拉がん剛勇の太刀山にもその半面には小兒も懷く優しいところがある。

□彼が、のそり〳〵と巨軀を運んで稽古塲に出れば、そこにゐる誰にも胸を貸して稽古をつける。丁髷奴も蝶鮎の上つて頭にでも、栗髷の三段目にでも『一丁願んます』と打突かつて來られゝば相手になつてやる。一わたり稽古が濟めば土俵を降りて何處へでも座り込んでニヤ〳〵笑ひながら取的の打突かり合ふのを嬉しさうに眺める。

□そして、他から見てゐては甚だ下らなく思はれる相撲に對しても『この手を卷いて、あの足を摑んで』なぞと、一々手を取つて教へ、批評を加へてゐる。判らなければ何遍でも丹念に注意して容易に慍つた顏を見せない。

□以前の太刀山は逞ましい筋骨を具へてゐても、その肉に豐かなところがなかつたが、今度來たのを見ると、丸々と肥つて顏なんかも福々としてゐる、彼がニコ〳〵笑つてる顏は丁度夷のやうに見ゐる。何んと言つても立派な横綱だ。

□『古くから一緒に上つて來た友達が皆廢めて了つたのに俺一人殘つてるのは何んだか極りが惡くなつたから』同じ宿に泊り合せて私の部屋の直ぐ向う座敷に短冊を貰つて繪筆を動かしてゐた彼は、椽先に立つてる私に振り向いて今更感慨に堪へぬやうに自分を顧みた

□『それでも一塲所に二三度黒星を貰ふ覺悟でゐればまだ五六年は樂に取れるがね、しかし餘りバタ〳〵倒されるのは見ツともないから少しは取れる內に引いた方がいゝ、引き際にもするから』彼は亦いつまで土俵にゐて多くの若い者に苦い目を見せるが、いかにも莫迦々々しいといふやうに慄う呟いた。

□で、この頃の彼は弟子に稽古を附けたり、同じ部屋の者に胸でも貸す外は自ら進んで烈しい稽古はしなくなつた。巡業中の彼の樂しみは五六年前から一心に習ひはじめた富士山の繪を描く事で、宿屋にゐても暇さへあれば天狗の羽團扇のやうな手に繪筆を握つては墨を刷いてゐる。

□『富士山の繪は誰にも習やしない、富士山を見て描く事を覺わたのだ、そして富士山が一ばん好きだから描くのだ―』と言つてる。それでいろ〳〵の方面から扇面だの、短冊だの、繪絹だの、畫帖だの、屛風だのを持ち込まれゝばいくらでもせつせと描く。

□前で場所の休みの時などは一歩も外へ出ずに、終日繪を描いてゐる―來年は土俵を引くんだから、お名殘りのつもりで幾らでも描き殘しておかうといふのが今の太刀山のつもりらしい。（釜山にて―星―）

●呆れた曲者

仁川松[illegible]里金[illegible]（二十）は數日前の午後三時頃富川郡多朱面の人家を遠く離れた田圃中で同郡[illegible]面銀杏里朱[illegible]（二十）と云ふ美少年に出會し同人の持て居た六十錢の米代を言葉巧みに騙取した廉に依り仁川警察署に押送され[illegible]して起訴されたが此者は去月二十六日午後十二時頃山手町三丁目奧田[illegible]工塲より四斗五升入の米一俵を窃取したる事ありたり

大生園開業と讀者接待

本町五丁目サッポロビーヤホール大生園は豫ねてより新築中の處今回愈々庭園家屋竣工し廿日落成式を擧げたるが園內には森林あり池泉あり飛瀑あり萬斛の凉味を湛へ京城にては他に求むべからざる風致あり此の絶勝の庭園を前にしたる室內は純ビーヤホール式にて一コップのビール一皿の洋食にても大威張りにて喫べられる事となつて居る故大いに賑はうべく猶廿一日は開店祝として本紙讀者に限り本紙接待券を切拔持參の方には庭園を自由に觀覽に供し猶ビール大瓶一本宛接待するとの事也

特許機械製 ほまれみそ

於第八回日本産業博覽會 銀牌受領

仁川府松林里
釀造元 日本醬油株式會社

サッポロビヤホール
大生園新築落成御披露

今般大日本麥酒株式會社監督の下に京城本町五丁目四十三番地（新町手前）に於てサツポロビヤホールを新築致し本日より開業致申候に付き賑々敷御光來被下度奉願上候

◆當園は大阪四ツ橋 アサヒビヤホールの例に倣ひ殆んど永久的に建築致したるものにて家屋の設計、用材の鹽梅等凡て專門家の意見を叩き殊に其の庭園の如きは京城唯一の造庭師某氏に托し費用を吝まず築庭爲致候ものに御座候其の鬱蒼たる大樹の下苔むす岩石、潺湲たる流れ、瀑布あり、鯉魚あり、實に深山幽谷の小縮圖と見るを得べく、一杯のビールを手にしながら之に望めば凉味一掬、身恰も仙境に在るが如き心地に御座候

◆當ビヤホール は廣く瀟洒たる土間を以て之に充て數多き食卓整然たる中、殊に食器、器具は悉く新調致し候事とて青嵐渡る場內の氣分及び裝飾は爽快の感を催さしめ、實に宴會、集會には最も適當の場所にして殊に商談待合所としては最も簡便に御座候何卒御遠慮なく御利用あらん事を願ひ上げ候

＝大生園食堂及庭園の一部＝

◆當ビヤホール はサツポロ アサヒ 兩ビールの專賣にして殊にサツポロ生ビールの如きは特に釀造元と交涉致し日々少量づゝを取り寄せ一々大日本麥酒會社當地支店の證明を得て販賣致し候事とて其の新鮮なる事は當園の責任を以て保證致す所に御座候

◆當ビヤホール 料理部主任 森岡貞固氏は日本內地 各ホテル及び日本郵船會社船舶に乘組み多年經驗と熟練とを重ねたるものにて料理人仲間にても相應信用と名聲を博し居り候。是非一度御光來風味御批評あらん事を奉希上候

◆當園開業 の祝として二十一、二十二、二十三日の三日間當園內御飲用の御方に限り

サツポロビール半額 にて差し上げ申すべく候間御散步旁々是非御來遊被下度奉願上候

大正六年六月廿一日

サツポロビヤホール 大生園主 白謹

●天井墜落して 生徒六名負傷す
九日岡山縣小田郡金浦小學校五年
鮮人五六絶影島方面より大豆數俵を
密輸船に積み來り同地の海岸にて入
夫を雇ひ一洞旅人宿崔重文方へ運
海面夫山里當時住所不定前科四犯の
金且苗（三）なる旨なるより同人を捕
縛し嚴重に取調べしに何れも住所不
前記崔重文（四六）及び同人妻吳來主（
三）の手を經て賣却したる金額數百圓
に達し居れり彼等は常に美服を纏ひ
內地人[illegible]留守中同人妻[illegible]（三）が
一人寢し居たる折柄煙草買ふとて
引き起[illegible]が寢室に侵入したるを
事に依り取調中なりしが十七日家宅
侵入罪として起訴さる（大邱）
●亂暴土工 全南松汀里居住土
[illegible]を以て毆打し休業七日治療十五
日間の傷を負はしめたるより十四日

發行所 京城日報社

花筐（三三）

松田竹の島人作

花枝を抱いて庭に立つてゐたお島は、目早く誠信の姿を見ると、

『おや御父様が御歸り遊ばしました。』と言つて、椽近く進み寄ると、花枝を其處に卸した。

父の顔を見た花枝は、急に勇み立つて、

『御父様御歸り』と嬉しさうに言ひながら、驅け寄つて、誠信の膝へ抱きついた。

お豊は直ぐに居住ひを直して、

『お歸り遊ばしませ』と兩手を椽へ突くと、お島も又椽へ坐つて、兩手を突き、同じやうなことを言ふ。

誠信が、花枝を抱き上げると、花枝は笑ひながら、

『御父様は、御家の中でも帽子を冠つて、可笑しいのね。』と言ひながら誠信の頭からパナマの帽子を取つた。

誠信は、右の手で花枝を抱いたまゝ、左の掌で、輕く其背を叩きながら、莞爾やかに

『御父様は、帽子を脱るのを忘れてゐたんだもの。』と揶揄するやうに言ふ。

花枝は倚ほも笑ひ興じつゝ、父のパナマ帽を持つたまゝ。

『御父様は忘れツぽいのね』と小ましやくれたことを言ふ。

『乳母、花枝さんは、私の留守に温順かつたかね？』と誠信が訊くと、お豊は自分が訊かれたのでもないのにお島に先き立つて。

『大變温順でゐらつしやいましたですよ。』

『然うか、そりや可かつた。駄々を捏ねると、御父様は大嫌ひさ。』

『花枝ちやんは、温順で乳母のいふことを能く聞いてよ。』と花枝は濟ました顔を爲る。

お島は、旦那様が自分に訊いてゐらつしやるのに、横から差出てと思ふから、瞥視とお豊の顔を横眼で見て

『眞個に温順で居らつしやいましたが、旦那様が御出掛けに爲りますと、今まで奕と姉様ごツこを遊ばしてゐらつしやいました。』

『其麽に温順かつたならば、御土産を遣らんちやならん。』

『お父様が御土産を下さいますと、可うございますね。』とお島は自分が貰ふやうに喜ぶ。

『豊、留吉に渡しといたから、取つて來ておくれ。』

『畏りました。』とお豊は去つた。

誠信は、母に見捨てられた花枝を不憫と思ふて、土産として途中で玩具を買ひ、そして抱へ車夫の留吉へ渡して置いたから、お豊にそれを取りに遣つた。

土産と聞いて、花枝は誠信に抱かれた儘喜びつゝ、

『良い御父様ね。』と追從らしく言ふと、それが仇氣ない花枝の口から出るのであつたから、寧ろ愛らしかつた。

『此奴御土産を貰うもんだから、御世辭を言つとるアハヽヽヽヽ』と誠信は他愛なく笑つて、

『これ御父様は、御衣服を著變へませう。』と言ひ、花枝を椽へ卸して、突き當りの室へ入ると、花枝は父のパナマ帽を持つて、お島と共に其蹤へ跟いて往つた。

誠信が洋服を脱ぐと、お島は其背後から、平素著の縞セルの單衣を著せかける。

其處へ、お豊が、土産の玩具を持つて來たが、其玩具は硝子の函に入つた、錫細工の匙や皿や急須杯の世帶道具であつた。

花枝は、其硝子の函を持つて、

『御父様有難う』と押戴いたが、其愛らしさといふたらなかつた。

●浪花の名物男

老侠小林佐兵衛米壽筵

十七日朝來しと〳〵と降る五月雨は午後に至つても止まず道は泥濘に歩行も困難なれど浪華の名物男として知られ全國到る處に乾兒を持つ老侠小林佐兵衛翁の米壽祝賀會に列せんと遠く

●西は九州路 より東は東京名古屋等其他市内の各方面より天王寺公會堂に集り來るもの流石に多く新門辰五郎以來の大侠客よと思はる會場には花モール美しく其内に萬國旗は如何にも平和に

●微風に動い て居る式は二時より開かれ先づ女婿酒井榮藏氏の挨拶の辭に次いで佐兵衛翁は紋服姿にて親類縁者を從へ壇上に現はれ酒井氏の介添にて一場の挨拶を述べ來賓池上市長菊池侃二氏福原消防課長其他數名の祝辭あり終つて横田虎彦氏の發聲にて

●翁の萬歳を 三唱し三越音樂隊の奏樂にて同三時目出度く式を閉ぢそれより園遊會に移り京都祇園大阪南地藝舞妓の手踊しなの屋の餘興あり模擬店を開き來會者一同歡を盡して全く會を閉ぢたるは午後五時半なりき（大阪支局）

口旅行のつれ〴〵（其の四）

義朗

とぼ〳〵と來ては偲ぶ青葉蔭
滝留や生魚に飽きて胡瓜好し
雨降らねば水なき大河雲の峰
海荒るゝ音高〳〵き夏野かな
若楓造作半ば住む家かな
二足目の草鞋穿き替ふ清水哉
樹下いつも兒等遊べるや風薫る

妻に

今日の風留守事なきや芥子の花

▲近來帝國傷兵援助會藤兵が午前十一時頃より午後二時頃に主人留守を見計ひ攻撃散と云ふ藥を押賣し度々に付謝絶すれど強制的に買取らする手段には夫人、下婢も冷汗を出し申候之と同様に厚顔無恥の廣島孤兒院の出張員と稱し人夫を引連れ贅澤風の男の押賣此二者は大和町邊を殊に徘徊し實に閉口仕候何卒嚴重に御取締願度候倚此際絶對に謝絶する方法貴紙上にて御教示被下度候（迷惑女）▲旭町一丁目の某藝者屋に二頭の犬を飼て居る此間或者が其家の前を自轉車で過る際藝者の連たる犬が自轉車乘の足に今しもかみ付ぬ許りにほね乍らとびついて居た餘り激しいので或者は下車した然に藝者は何にも宜き氣味と云はぬ計りに笑て居た斯る態度で居ることは如何にも不都合である犬を愛することは必ずしも惡しきにあらずと雖も所謂愛犬者なる者には犬の愛に溺れ他人に迷惑を掛くること少しも考へ及ばぬ者が少くない（實見者）▲朝鮮人が古新聞を買ひに來ましたから二貫目ばかり一纏めにして渡しました處自分で秤にかけて見て一貫目しかないと申しますそんな筈はないと思つて好く〳〵注意しますと新聞をかける時秤に手をかけて居ることが判りましたそこで妾がそんな惡い事をする人には賣らぬと申しましたらその朝鮮人は眞赤な顔をして遂々買はずに逃ました矢張良心に恥ぢたのでせう（一主婦）

新刊紹介

▲太陽（特別增刊世界と日本號）三十週年記念號にして世界の局趨と日本の對策に關する專門大家の研究論策三十餘篇を満載す皆堂々たる權威的大文字にして外に正宗白鳥氏の約百頁に上る長篇小説『烈日の下に』を添ふ、卷頭に地圖四枚、口繪五葉、寫眞版三十餘を挿入し本文七百頁を保ち蓋に於て雜誌界空前の壯觀を極む（壹圓無稅七錢五厘東京日本橋本石町博文館）

▲面白倶樂部（七月號）長谷川時雨女史の『稚川心中』平井晩村氏の『馬盗人』武田仰天子氏の『相馬大作』本田美禪氏の『八百屋の娘』共他大河内翠山氏の『安政五人男』作文太宰之氏の『路傍馬運挫』及滋藤雜錄の吉岳魚詠萬、結婚ローマンス、少年少女欄、婦人寶帳、新聞の新聞、學校及學生名流較證珍聞等（十錢東京本郷區駒込坂下町四八講談社）

▲少女の友（七月號）高木文學士の『秀吉を驚かした昔の手品』沼波文學士の『惜しくてたまらぬ話』共に面白く『常識的大隠貫は娯楽に富める珍勝賞たり其他少女小説『夕暮の丘』歷史物語『生ける屍』科外講話『夏の空』飯塚博士の『動物雑話』中井博士の『植物雑話』等は本誌の呼物なり（十二錢東京實業之日本社）

▲日本少年（七月號）海軍大學校長の『スチロフの勇士』花外先生の『地中海上に躍る日章旗』極東オリンピックのマラソンに參加せし橋本、加藤兩選手の痛快談、力の入つた小説では『血染のボタン』『親兄弟』等あつて珍しき寺内總理大臣少年時代の腕白物語、奇々怪々『水兵の國難』『少年懺悔』につぐに少年歌劇、ポンチ等何れも又らしく元氣あつて梅雨の鬱を散ぜしむ（十二錢東京實業之日本社）

▲勝友（六月號）（五錢京城本町三ノ五〇浄土宗青年會本部）

▲圍碁虎之卷（六月號）（二十錢東京麻布富士見町二宮の日本）

▲嗜好（六月號）（六錢東京京橋銀座二丁目明治屋）

▲ザ、イングリッシ、タイムス（六月十五日號）（十二錢東京芝南佐久間町英語精習社）

▲保險新聞（七年記念號）（九錢東京神田北神保町八共社）

▲流行（六月號）（東京日本橋白木屋吳服店）

▲婦人週報（六月十五日號）（四錢五厘東京牛込市ケ谷田町二ノ一七共社）

▲今様（六月號）（東京神田鍛冶町二四松屋吳服店）

商況

下關期米特電

二十日前場（各地利喰押賣物）

[illegible]

▲二十日後場▲兵庫後當二十二圓五十九錢東京二十二圓三十五錢大阪前止二十三圓〇六錢後當〇九錢の入電にて當地當中出來不申先十八圓七十一錢と二錢高に寄付たるも賣屋勝にて六十九錢と下りたる折柄大阪二十三圓丁度二十二圓九[illegible]

▲後場 先限⊖十八圓七十一錢七十錢六十九錢七十錢⊜六十九錢四錢二錢三錢二錢一錢六十錢[illegible]錢六十錢一錢二錢⊜五十七錢八錢九錢六十錢五十九錢六十錢一錢六十錢⊜六十錢五十九錢六十錢五十九錢五

▲保合下遊る 天候依然晴照り大阪の小高き入電[illegible]

⊜悉節にも賑かず下げ錯りたり不知今後の變動如何

▲今 同店の賣三千餘石買九千餘石
▲⊖ 同店の賣九千餘石買五六百石
▲圓 同店の賣六千餘石買六千餘石
▲⊞ 同店の賣四千餘石買五千餘石
▲[illegible] 同店の賣五千餘石買[illegible]千餘石

[illegible]し居るも實態は再非せし如く正米界の情勢存外落付き居るゝ候の見定め付き難く徒に大阪筋きも飛付き買込む手口なく左りとて大阪安きも突込み來らず天候と正米界大阪の高下等に就き大いに迷ひの折柄目先尚保合を持續するならんが併し時は決して保合を許すの時ならず正米の[illegible]

より十四圓十五錢迄延安六百十圓二十錢等にて[illegible]來たり

▲登米小賣相場 特等二十三錢一等二十二錢五厘二等二十一錢と各五厘値下を發表したり

二十日の八月限

半	前	後
一節	二節	三節

中八圓二十錢 七八圓二十二錢 十八圓六十錢 十八圓六十錢
[illegible]

▲長女美紗乃（一八）に父の印章及び民籍謄本を盗み出させ旅費を支給して京城に誘拐し來り※井町貸座敷業金[illegible]

商標登録

消化 滋養 風味 清潔

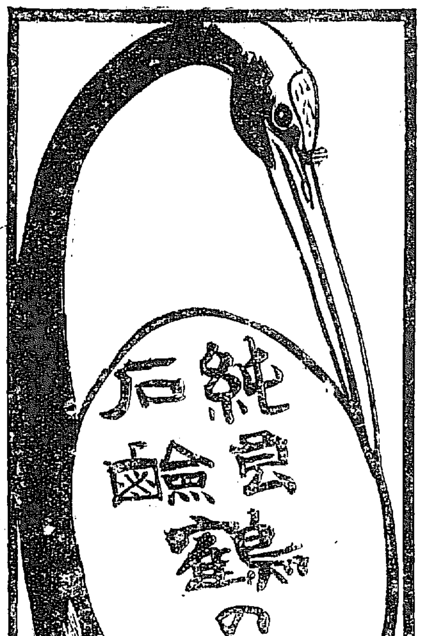
此四大要件を目的として弊社獨特の製法に由れる

森永 ミルクキャラメル 二千九御社意

は常に健全なる御家庭用として何より必要

顧問 藥學博士 丹波敬三
技師長 藥學博士 関田春吉

6—18 森永製菓株式會社



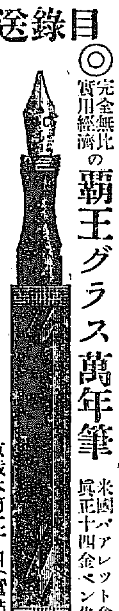
東京 淺井支店 製

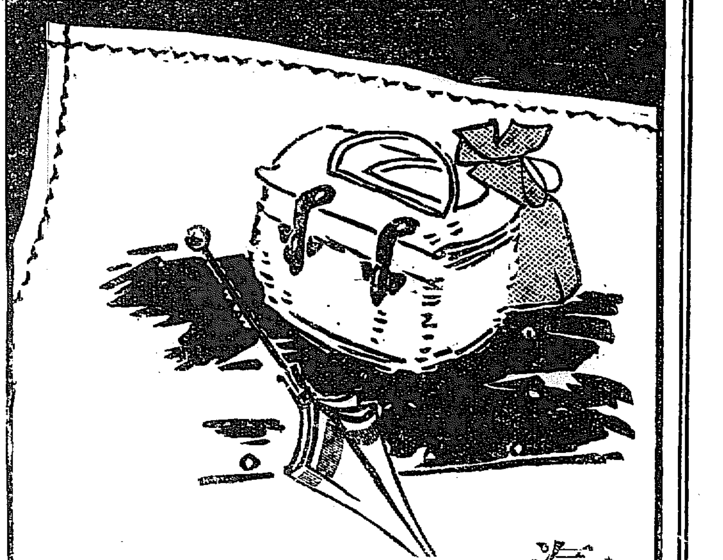
目録送呈

◎完全無比の實用經濟 覇王グラス萬年筆 米國パアレット會社製 眞正十四金ペン先付 最新インキ止式

●諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候

●朝鮮總代理店 京城本町二丁目（電話四五番）振替京城二五六番 釘本藤次郎本店





汽車の二等にかほる香水

金鶴香水 ツル香水

今が需用の眞最中

鶴香水日本輸入元 花王石鹸關西代理店 大阪 大崎組商會

花王石鹸製造元 鶴香水關東代理店 東京 長瀬商會

最新刊

書名	著者	定價
◎閥族の解剖	神川倉田氏	一、五〇
◎郷等の爲に代言す	田中王堂	一、五〇
◎大正國民の修養	遠藤隆吉	一、二〇
◎小學教育の最近研究	帝國教育會編	一、六〇
◎補習學校の組織及經營	川本宇之介	一、六〇
◎最新工業電氣化學講義	丸山 護	一、五〇
◎教養中心歷史教授の實際案 卷上	山田 敦直	九〇
◎Xレー	杉本 信藏	一、二〇
◎歐洲美術巡禮記	高村 眞夫	一、六〇
◎大正之青年と日蓮主義	柴田 一能	一、〇〇
◎改晴商店繁榮策	岡城 寺良	一、〇〇
◎新式英語獨習自在	初學英學會	六〇
◎高山彦九郎	山路 愛山	九〇
◎大聖日蓮	高須 梅溪	一、〇〇
◎大正青年訓	大町 桂月	五〇
◎處世論語	澁澤 榮一	六五
◎端唄及都々逸集 附小唄歌	海賀變哲	五五
◎實録落桐一葉	坪内 逍遙	八五
◎貯蓄のをしへ	秋山 湖風	三八

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話六八六・三六六番 振替京城二五七三番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸 六月三十日後四時出帆
○秀吉丸 七月 四日後四時出帆
○神代丸 月 日後四時出帆
○君が代丸 六月廿二日後四時出帆

仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛荘行
相模丸 六月廿四日正午出帆
高砂丸 七月 五日正午出帆
三河丸 七月十五日後六時出帆

仁川海岸町十一番地 電話十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸 六月 日後五時出帆
○立神丸 七月 一日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○和歌浦丸 六月 日後十時出帆
○立神丸 六月三十日後四時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、巖原、壹岐、博多行
○天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後一時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

○江原丸 六月廿二日
○京畿丸 六月 日
○黄海丸 六月 日
○咸鏡丸 六月廿八日 釜山發
（門司より釜山各港寄港仁川着）
○穏城丸 六月 日
○昌平丸 六月 日
○鏡城丸 六月廿四日 元山發
（元山より各港經由雄基行）
○昌平丸 六月 日 元山發
○咸德丸 六月廿一日 釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港）
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 釜山發 浦項發（長生浦方魚津寄港）
○三浦丸 六月 日 釜山發（長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港）
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發（各港經由麗水行、三日目一週木浦行）
○平壤丸 六月廿二日 元山發（城津清津雄基間各港寄港）
○順天丸 三日目毎 木浦發（各港經由麗水より釜山行に接續）
○慶興丸 六月 日 木浦發（各港經由濟州島行 西廻）
○慶興丸 六月廿二日 木浦發（麗水多島海濟州島行 東廻）
○公州丸 六月 日 木浦發（各港寄港）
○麗水丸 ○晉州丸 六月廿二日 仁川發（各港寄港）
○宗信丸 六月廿二日 仁川發（各港經由木浦行）
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發（江華島、喬桐島、海州行）

本社 電話長一九五二番二三番 京城南大門通 松原運送店（電話長一七〇番）

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬航路（除沿岸航路）乘船の時は五分引を以て連絡切符を發賣仕候
◎門司、神戸、大阪行
△南都丸 六月廿七日
×汕頭丸 七月 二日
△南都丸 七月十一日 後二時出帆
◎神戸、大阪行
×汕頭丸 六月 日後五時出帆
◎木浦、釜山、厳原、郷の浦、長崎行
×安東丸 六月廿五日
×安東丸 七月十三日 後二時出帆
○横濱行
×遼州丸 六月廿二日
△福州丸 六月廿五日 後二時出帆
◎南浦行
△福州丸 六月廿二日
△南都丸 六月廿四日 正午出帆
◎鎭南浦、大連行
×安東丸 六月 日
×安東丸 七月 八日 後二時出帆
◎大連直航
×遼州丸 六月 日
△福州丸 六月 日 正午出帆
◎西湖津新浦城津清津行
安平丸 六月 日後十二時出帆
◎清津行（元山出帆）
須磨丸 六月廿四日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸 六月 日
大智丸 六月廿七日 後四時出帆

御注意 ●朝鮮郵船及び南滿鐵道線連絡切符發賣仕候●印は本船特別改良船●×印は一等

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二〇番五五八番
切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 用要旅館 電話二六一番

仁川代理店 野口商會 本町四丁目（電話一七三番）
元山代理店 田口回漕部 （電話二六八二一〇七）
京城取次店 河村運送店

三波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行
第廿共同丸 六月廿二日午後八時出
朝鮮郵船連絡 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）

▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替京城 京城日報代理部